

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
平成23年度 業務実績評価書
参考資料 小項目評価

平成24年 8 月

神奈川県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実（小項目1～21）

ア 足柄上病院（小項目1～5）	1
イ こども医療センター（小項目6～9）	6
ウ 精神医療センター 芹香病院（小項目10～12）	10
精神医療センター せりがや病院（小項目13）	14
エ がんセンター（小項目14～17）	16
オ 循環器呼吸器病センター（小項目18～20）	21
カ 医療機能を評価する指標（小項目21 21-1～21-24）	24

(2) 医療機器・施設整備の推進（小項目22～25）

ア 医療機器整備の推進（小項目22）	30
イ 施設整備の推進	
(ア) がんセンター総合整備の推進（小項目23）	31
(イ) 精神医療センター総合整備の推進（小項目24）	33
(ウ) その他の施設整備の推進（小項目25）	34

(3) 地域医療連携の強化（小項目26）

(4) 臨床研究の推進（小項目27～30）

ア 臨床研究（小項目27～28）	37
イ 治験（小項目29～30）	39

2 安全で安心な医療の提供（小項目31～35）

(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備（小項目31）	41
(2) 医療安全対策の推進（小項目32）	43
(3) 感染症対策の強化（小項目33）	45
(4) 災害対策の推進（小項目34）	47
(5) 情報セキュリティの強化（小項目35）	49

3 患者の視点に立った病院運営（小項目36～43）

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供（小項目36～39）	50
(2) 県民への病院・医療情報提供の充実（小項目40）	57
(3) 患者の利便性の向上（小項目41・42）	59
(4) ボランティア・NPOとの協働（小項目43）	61

4 医療人材の確保と育成（小項目44～47）

(1) 医師の確保と育成（小項目44）	63
(2) 看護師の確保と育成（小項目45）	64
(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実（小項目46）	66
(4) 勤務環境の改善（小項目47）	68

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立（小項目48）

2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

(1) 効率的・効果的な業務運営（小項目49～54）

ア 人事・予算の弾力的運用（小項目49・50）	70
イ 事務職員の専門性の向上（小項目51）	72
ウ 職員の経営参画意識の向上（小項目52）	73
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進（小項目53）	74
オ 効率的な事務執行の推進（小項目54）	75

(2) 経営改善の取組（小項目55～59）

ア 収益の確保（小項目55～57）	76
イ 費用の削減（小項目58～59）	79

第7 その他業務運営に関する重要事項（小項目61）

人事に関する事項 (1)適切な職員配置 (2)的確な人事管理	81
--------------------------------	----

第3 財務内容の改善に関する事項（小項目60）

	82
--	----

小項目 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療 ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。	・地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。	・高齢化が進んでいる足柄上地域において、地域特有のニーズに合わせて、認知症の早期発見・早期治療のため、もの忘れ外来を週1回開設するとともに、HCUを設置し、重症患者の受入れなど救急体制の充実を図った。 ・食物アレルギー疾患等の子どもを対象に専門外来として、小児アレルギー患者を受け入れ、平成23年度の患者数は823人で平成22年度731人と比べ92人増加した。 ・地域のニーズを踏まえ、平成24年4月からリハビリテーション科の診療日を週1回から2回に増やすことができるよう、新たに医師を1人確保し、2人とするなど診療体制の整備に努めた。	実績に対する評価 ・もの忘れ外来の開設は認知症の早期発見につながり、地域特有のニーズに応じている。 ・小児アレルギー外来の患者数は平成23年度は平成22年度と比べ、92人増加しており、専門外来としての役割を担っている。 ・平成24年4月から診療日を増やすことを目的として、医師及び理学療法士の増員に努め、リハビリテーション機能の強化を図った。	△	△	
			課題 地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の充実に取り組む。			

小項目2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。</p>	<p>・高齢者病棟（スマイル）を活用した高齢者への専門的・個別的医療や看護の提供等により「高齢者総合医療」を推進する。</p> <p>・スマイル病棟に入院する患者に対しては、きめ細かなカンファレンスを行い、実患者数は現状程度としながら、地域医療連携による退院支援の充実により、在院日数の短縮を図る。</p>	<p>高齢者病棟（スマイル病棟）は医師・看護師・薬剤師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士などと家族が協力し、疾病によって出現する個々の患者の生活機能障害を、チームとして包括的に評価し、個々にとって最適な急性期医療を提供することを目的としている。</p> <p>【スマイル病棟による高齢者総合医療の実践】</p> <p>スマイル病棟の入院患者について、入院時にパーセルインデックスにより生活機能評価を行い、カンファレンスを通じて機能維持向上のための治療方針等をチームで共有し、退院時の設定を行っている。</p> <p>また、入院中、退院時を通してパーセルインデックスによる評価で生活機能の変化を比較し、機能維持向上に活用している。</p> <p>さらに、入院時から地域医療連携室が関わり、地域医療機関や家族と連絡をとり、共同指導や家族指導等を通じて退院支援を行っている。</p> <p>予防医学については、誤嚥性肺炎の予防のため、必要に応じて嚥下内視鏡検査を行い、嚥下状況を確認して食事を選択している。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>スマイル病棟の実患者数は、平成23年度の目標値を達成しており、平成22年度と比較しても増加した。</p> <p>平均在院日数は、平成23年度目標値を達成しており、平成22年度実績との比較においても2.8日短縮し、改善が図られた。</p> <p>患者の生活機能評価については、全ての項目において退院時には入院時を上回る結果になった。</p>	△	△	急性期病床に特化していくことが地域のニーズに合っているのか、今後の方向性について検討を要する。
			<p>課題</p> <p>亜急性期病床を見直し、急性期病床の中で、高齢者総合医療を充実させていく。</p>			

【スマイル病棟患者数の実績と目標値】

区分	平成21年度実績	平成23年度目標値
実患者数	122人	120人
平均在院日数	26.0日	20.0日

【スマイル病棟患者数の実績】

区分	平成22年度	平成23年度
実患者数	117人	118人
平均在院日数	21.6日	18.8日
延べ患者数	2,533人	1,995人

【高齢者総合医療を目指すその他の取組み】

地域における生活習慣病予防対策として、地域住民の要望に応え、医学講座等を開催するなど住民の予防意識向上に努めている。

医学講座等の開催回数（実績）平成23年度 13回
平成22年度 12回

Smile(微笑)
Multidisciplinary(専門的多職種)
Integrate(統合)
Listen(傾聴)
Empathy(共感)
の頭文字をとったもの

小項目3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CT（全身用コンピュータ断層撮影装置）を活用し、検査時間の短縮化を進め、高齢者をはじめとする患者の診療における負担軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年12月からCTのソフトウェアの更新により、患者へのX線の照射時間は変わらないものの、従来に比べ、X線の被曝線量が3割～4割少ない線量で同等の画像検査ができるなど患者の負担軽減を図った。 ・CTによる大腸検査を新たに実施することによって、3D画像による腸内の診断ができるとともに、腸管の癒着や狭窄で内視鏡検査ができない場合でも検査が可能となった。 また、内視鏡検査では30分～1時間かかっていた検査時間が、CT検査では10分～15分と短縮された。 	<p>実績に対する評価</p> <p>CT検査におけるX線の被曝線量の低減を図り、患者の負担軽減に努めている。 大腸CTによる検査によって内視鏡ではできない検査も可能となり、また検査時間の短縮化にも努めている。</p>	△	△	
			<p>課題</p> <p>今後、PACSの導入により他部門も含めたすべての画像（超音波、心電図等）、診療録について電子管理化を進める必要がある。</p>			

小項目 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>・ICUの設置に向けた取組を行うとともに、消防本部との連携強化等により、救急医療を充実する。</p> <p>(参考) 年間救急受入数実績 (平成20年度) 9,972件</p>	<p>・消防本部との連携を強化するなど救急体制を充実し、救急患者の受入れを拡大するとともに、ICU設置に向けて準備を進める。</p> <p style="text-align: center;">[年間救急受入の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成21年度実績</td> <td style="text-align: center;">平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11,545件</td> <td style="text-align: center;">12,000件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	11,545件	12,000件	<p>・平成24年2月より重症度の高い救急患者を受け入れるため、ICU設置に向けた第一段階として、HCU4床を設置し、救急医療機能の充実を図った。</p> <p>・足柄消防組合の要請に基づき、救急隊救急救命士の再教育実習を当院で受け入れたほか、連絡調整会議を開催し、救急業務に係る意見交換や事例研究を行うなど連携を強化し、救急体制の充実を図った。</p> <p style="text-align: center;">[年間救急受入の実績]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">平成22年度</th> <th style="text-align: center;">平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急依頼件数</td> <td style="text-align: center;">12,711件</td> <td style="text-align: center;">12,439件</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td style="text-align: center;">11,872件</td> <td style="text-align: center;">11,808件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td style="text-align: center;">2,320人</td> <td style="text-align: center;">2,360人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※救急依頼件数と救急受入件数の差分は受入できなかった件数 (平成22年度839件、平成23年度631件)</p>	区分	平成22年度	平成23年度	救急依頼件数	12,711件	12,439件	救急受入件数	11,872件	11,808件	入院患者数	2,320人	2,360人	実績に対する評価	Λ	Λ	
		平成21年度実績	平成23年度目標値																			
11,545件	12,000件																					
区分	平成22年度	平成23年度																				
救急依頼件数	12,711件	12,439件																				
救急受入件数	11,872件	11,808件																				
入院患者数	2,320人	2,360人																				
課題	<p>ICU設置に向けてHCUの運用を開始するなど、救急医療体制の充実を図っている。</p> <p>また、年間救急受入件数は目標値を概ね達成するとともに、救急患者のうち入院に結びついた数も増加するなど救急医療機能が向上している。</p> <p>ICU設置に必要な施設基準の取得のため、必要な医師、看護師の確保に努め、救急医療体制の充実・強化を図る必要がある。</p>																					

小項目 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																											
			自己点数	評価点数	コメント																											
<p>・地域で安心して出産ができるよう、産科医療体制を充実するとともに、助産師による院内助産の取組を進める。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>241件</td> <td>370件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>31件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	分べん件数	241件	370件	うち助産師分べん件数	31件	80件	<p>・産婦人科医師の確保を図る一方、院内助産の体制を整備し、助産師外来、母親教室、母乳育児支援等、助産師を活用した取組により、地域で安心して出産ができるための産科医療体制を充実する。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>244件</td> <td>250件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>41件</td> <td>150件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績	平成23年度目標値	分べん件数	244件	250件	うち助産師分べん件数	41件	150件	<p>産婦人科医師の必要数が確保できない中、産科医師の負担軽減を図るため、平成23年4月からは院内助産システムとして、助産師主導の正常分娩を実施している。</p> <p>また、助産師は週2回助産師外来で妊婦健診や保健指導を行い、さらに週1回母乳育児外来で乳児健診等の業務を行うなど、妊婦・分娩・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけている。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>253件</td> <td>171件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>73件</td> <td>154件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	分べん件数	253件	171件	うち助産師分べん件数	73件	154件	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>平成23年度の方べん件数171件のうち、助産師分べんは、154件と目標を達成し、平成22年度の2倍を超える件数となっているが、分べん件数全体としては目標値を下回るなど、産科医療体制の充実強化が求められる。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">C</p>	<p style="text-align: center;">C</p>	<p>助産師による正常分べんの実績は伸びているが、足柄上病院では産婦人科医が扱う異常分べんについても対応していくべきである。</p> <p>件数だけではなく、県立病院として対応すべき分べんの対応状況などの視点による目標設定について検討が望まれる。</p> <p>助産師による院内助産の環境を整え、積極的に取り組むことにより件数を増やしていることは評価できる。</p>
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																														
分べん件数	241件	370件																														
うち助産師分べん件数	31件	80件																														
区分	平成21年度実績	平成23年度目標値																														
分べん件数	244件	250件																														
うち助産師分べん件数	41件	150件																														
区分	平成22年度	平成23年度																														
分べん件数	253件	171件																														
うち助産師分べん件数	73件	154件																														
			課題																													
			<p>足柄上地域で唯一の分娩対応医療機関であり、産婦人科医師の確保に努め、地域で安心して出産が可能となる産科医療機能を整備していく。</p>																													

小項目6 業務実績及び評価

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療機能の充実
-----------------------	---

中期目標	<p>イ こども医療センター</p> <p>県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。</p> <p>また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			自己点数	評価点数	コメント																												
<p>ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 ・医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓血管外科手術をはじめとする、手術の実施体制を充実する。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <th style="width: 15%;">平成20年度実績</th> <th style="width: 15%;">平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,895件</td> <td style="text-align: center;">4,030件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	3,895件	4,030件	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設として、手術の実施件数の増加に対応するため、医師の増員等により手術体制を充実する。 <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">平成21年度実績</th> <th style="width: 15%;">平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td style="text-align: center;">3,735件</td> <td style="text-align: center;">3,800件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td style="text-align: center;">123件</td> <td style="text-align: center;">130件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td style="text-align: center;">59件</td> <td style="text-align: center;">40件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績	平成23年度目標値	手術件数	3,735件	3,800件	うち新生児手術件数	123件	130件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	59件	40件	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数は科長が長期休職中の眼科など小手術の多い診療科の件数が減少したため、目標値3,800件に対し3,584件と94.3%の達成率に留まった。 ・一方、新生児手術件数143件、乳児外科施設基準対象手術件数112件と目標値を大きく上回った。 ・手術件数は目標を達成できなかったものの、新生児手術件数、乳児外科施設基準対象手術件数ともに目標値を大きく上回ったこと、また、診療科別でも心臓血管外科の手術件数が前年度比28件増の404件になるなど他の医療機関では対応が困難な難易度の高い手術の実施件数が増加した。 <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">[手術件数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">平成22年度</th> <th style="width: 15%;">平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td style="text-align: center;">3,684件</td> <td style="text-align: center;">3,584件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td style="text-align: center;">229件</td> <td style="text-align: center;">143件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td style="text-align: center;">86件</td> <td style="text-align: center;">112件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	手術件数	3,684件	3,584件	うち新生児手術件数	229件	143件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	86件	112件	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 10px;">△</p>	<p>課題</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 10px;">△</p>	<p>手術件数は目標を達成できなかったものの、新生児手術件数、乳児外科施設基準対象手術件数ともに目標値を大きく上回ったこと、また、診療科別でも心臓血管外科の手術件数が増加するなど他の医療機関では対応が困難な難易度の高い手術の実施件数が増加している。</p> <p>このことは、小児の高度・専門医療を提供する三次医療機関としての役割を果たしている。</p> <p>手術件数が逡減傾向にある中、県内の医療ニーズに適切に対応するため、計画どおり進捗をしている機器の整備と合わせ、眼科科長の確保といった運用面での体制強化を図る必要がある。</p>
平成20年度実績	平成26年度目標値																																
3,895件	4,030件																																
区分	平成21年度実績	平成23年度目標値																															
手術件数	3,735件	3,800件																															
うち新生児手術件数	123件	130件																															
うち乳児外科施設基準対象手術件数	59件	40件																															
区分	平成22年度	平成23年度																															
手術件数	3,684件	3,584件																															
うち新生児手術件数	229件	143件																															
うち乳児外科施設基準対象手術件数	86件	112件																															

小項目7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・小児医療における総合的な緩和ケアを推進するための体制を整備する。</p>	<p>・心理的要因も含めた緩和ケアの体制を強化するため、専従の医師の配置等による緩和ケアチームを組織上位置付ける。</p> <p>・疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに疼痛の緩和を行うアキュートペインサービス*1を推進する。</p>	<p>・緩和ケアチームを組織上位置付け、専従の医師を中心に専門・認定看護師、臨床心理士、薬剤師から構成される緩和ケアチームにおいて、週1回の定例カンファランスを38回開催し、個々の症例における身体的、精神的、社会的苦痛に対する最適な緩和ケアについて、検討・提供を行った。</p> <p>・さらに緩和ケアチームを中心とした緩和ケア検討会議を6回開催し、センターの緩和ケアの在り方、生命倫理を含む症例検討などを広範な視点から討議した。</p> <p>・会議内に設置した急性期緩和医療ワーキンググループが作成した「急性期にある子どもの看取りに関する手引き」の使用実績に対する検討、評価を行った。</p> <p>・死亡退院した患者家族を精神面で支援することを目的に「グリーンカード」を作成し、運用を開始した。</p> <p>・センター職員、地域医療連携登録医療機関、訪問看護ステーションを対象に小児緩和ケアセミナーを2回開催した。</p> <p>・“より安全にそして苦痛なく”子どもたちが侵襲を伴う処置、検査を受けられるように、手術室外にも持ち出せるコンパクトな全身麻酔器を購入し、麻酔科専門医による静脈麻酔の提供といったアキュートペインサービスを開始し、30件程度実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>小児専門の緩和ケアチームを国内で最初に設立した医療機関として、緩和ケアチームを中心に広範かつ多様な緩和ケアに取り組んでいる。 また、安全にそして苦痛なく子どもたちが侵襲を伴う処置、検査を受けられるように、アキュートペインサービスを実施したことは、他の医療機関では行われることの少ない先駆的な取組である。 これらにより、県内唯一のこどもの専門病院として、小児医療における総合的な緩和ケアを推進している。</p>	A	S	<p>難しい小児の緩和ケアの推進という先進的な取組は、県立病院に求められているところであり、目標として掲げ努力していることは評価できる。 今後は業務実績がより確実に測れるよう年度計画の立て方について検討していただきたい。</p>
			<p>課題</p> <p>診療報酬の緩和ケア診療加算、外来緩和ケア管理料の算定に向け、看護師の専任化を図る必要がある。</p>			

小項目 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染に対する予防及び拡大防止の体制を強化するため、感染制御室を設置する。</p>	<p>・感染制御室を中心として、感染症患者受入れ対策並びに院内感染及び持ち込み防止対策の充実に取り組む。</p>	<p>・標準予防策推進を目的とした定期病棟ラウンド及び抗菌剤の適正使用推進に向けた病棟ラウンドを実施し、病棟横断的な療養環境の整備及び改善に向けた見直し並びに重症感染症患者に対する抗菌剤使用の監視を実施した。</p> <p>・感染症対策マニュアルの見直しを行い、針刺事故などの職業感染対策の項目を設けた。また、手術部位感染の発生報告を制度化し、同一診療科で二例以上発生した場合は、改善策を検討することとしたほか、感染症発生情報の共有化を図り、院内感染対策の管理体制を強化した。</p> <p>・感染症対策に関するセンター内研修の参加者の拡大に向け、セクションごとのフォローアップ研修を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>小児期に発症する感染症の持ち込み防止及び院内拡大防止に向けた早期対処は、免疫機能が未熟な小児を対象に診療を行う小児病院では、重点的な取組が必要とされるものである。</p> <p>感染制御室を中心に、日々発生する感染症への対応、マニュアルの見直し、研修の充実に取り組み、院内感染及び持ち込み防止対策に取り組んだ。</p>	△	△	<p>目標の明確化を検討していただきたい。</p>
			<p>課題</p> <p>院内感染防止対策の強化を図るため、他の医療機関と連携した感染防止対策に関するカンファレンスを開催するなどの取組を推進していく必要がある。</p>			

小項目9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター
 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
・周産期救急及び小児の三次救急を充実するための体制を整備する。 (参考) 周産期救急・小児三次救急実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	N I C U 受入実患者数	512人	救急受入件数	6,142件	・本県の周産期救急医療 ^{※2} システムを効果的に運用するために、周産期救急の基幹病院として、他の医療機関では治療が困難な患者を中心に受入れを行うとともに、小児三次救急とあわせ、地域医療機関との連携・調整の役割を引き続き担う。 [周産期救急の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U^{※3}受入実患者数</td> <td>599人</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児^{※4}入院件数</td> <td>47件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数</td> <td>29件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻し搬送^{※5})患者数</td> <td>105人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績	平成23年度目標値	N I C U ^{※3} 受入実患者数	599人	600人	超低出生体重児 ^{※4} 入院件数	47件	55件	依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数	29件	25件	N I C U から他医療機関への転院(戻し搬送 ^{※5})患者数	105人	100人	・N I C U の受入実患者数は、目標値の600人に対し、581人と96.8%の達成率に留まった。また、超低出生体重児入院件数は、目標の55件に対し、42件に留まっている。 一方で、全国的なN I C U 不足の中、N I C U 病床21床に対し、年間平均20.4人を受け入れており、常時満床に近い状態にある。また、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者も200人程度受け入れている。 ・依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数は、目標の25件に対し、17件に留まり、また、N I C U から他医療機関への転院(戻し搬送)患者数も、目標の100件に対し、78件に留まっている。 ・救急受入件数、救急入院患者数ともに、前年度の実績を上回っており、三次救急医療機関としての役割を果たしている。	実績に対する評価 ・N I C U 病床は常に満床に近い状態で新たな患者受入が困難なこともあり、N I C U の受入実患者数、超低出生体重児入院件数は、目標値を下回っている。 また、依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数、N I C U から他医療機関への転院(戻し搬送)患者数も、目標値を下回っている。 実績値は目標値を下回っているが、N I C U が常時満床に近い状態の中、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者を200人程度受け入れるなど、他の医療機関では治療が困難な患者を可能な限り受け入れている。 また、救急については、救急受入件数、救急入院患者数ともに前年度の実績を上回っている。 以上のことから、周産期救急基幹病院としての役割を果たし、小児の三次救急医療の充実に努めている。	A	A	県内の医療機関との連携を一層進めていくことが望まれる。
	区分	平成20年度																									
	N I C U 受入実患者数	512人																									
救急受入件数	6,142件																										
区分	平成21年度実績	平成23年度目標値																									
N I C U ^{※3} 受入実患者数	599人	600人																									
超低出生体重児 ^{※4} 入院件数	47件	55件																									
依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数	29件	25件																									
N I C U から他医療機関への転院(戻し搬送 ^{※5})患者数	105人	100人																									
課 題																											
N I C U 21床のうち、平成23年度の1日平均の在院患者は20.4人で、呼吸管理など継続的な治療を要する患者が増え、新たな患者受入が困難になり、また、新生児集中治療室管理料算定患者は1日平均14.9人(平成23年度)に止まっていることから、G C U [※] 及び一般病棟との連携の一層の緊密化によるN I C U の運用効率の向上が必要である。 G C U [※] ：N I C U で治療を受け、状態が安定した患者が、引き続き治療を受ける回復室で、患者の状態により直接入室する場合もある。																											

小項目10 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院

芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																									
			自己点数	評価点数	コメント																									
<p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センター等関係機関との連携を図ることにより、精神科24時間救急を基幹病院として実施し、措置入院患者の受入れのみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。 <p>（参考）精神科救急件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	措置入院患者	93件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	<p>（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急システムの実施主体である4県市主管課や精神科救急医療情報窓口である神奈川県精神保健福祉センターとの密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者についても県の精神科の基幹病院として積極的な受入れを行う。 <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>89件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>63件</td> <td>50件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績	平成23年度目標値	措置入院患者	89件	100件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	63件	50件	<p>・神奈川県精神保健福祉センター及び4県市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）により構築された精神科救急医療システムにおいて、精神科の専門病院として精神科救急の基幹病院の役割を果たすとともに、精神科救急医療システム連絡調整会議などを通して密接な連携を図り、措置入院患者や急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者を積極的に受け入れた。</p> <p>[精神科救急件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>109件</td> <td>108件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>43件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・4県市が実施している精神科救急医療システムで、自傷他害の恐れのある精神障害者に対する「精神科24時間救急の病床」を確保している基幹病院は7病院あり、芹香病院は最多の病床を確保し、基幹病院の中でも中心的な役割を担っている。</p> <p>平成23年10月には神奈川県への要請に応じ、芹香病院の確保病床数を4床増やし16床としたことで、神奈川県全体の精神科24時間救急の病床数が29床から33床に増加し、県の精神科救急医療体制の充実に寄与した。</p>	区分	平成22年度	平成23年度	措置入院患者	109件	108件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	43件	46件	実績に対する評価	△	△	
	区分	平成20年度																												
	措置入院患者	93件																												
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件																													
区分	平成21年度実績	平成23年度目標値																												
措置入院患者	89件	100件																												
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	63件	50件																												
区分	平成22年度	平成23年度																												
措置入院患者	109件	108件																												
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	43件	46件																												
課題																														

小項目 1 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント				
<p>・救急・急性期医療において、早期退院が困難な患者に対し、集中的なリハビリテーションを行い、円滑な退院促進・社会復帰を図る。</p> <p>・ストレスケア医療や、精神障害が多発する思春期を対象とした精神科医療等を実施する。</p>	<p>・難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激療法）の開発、復職支援等のリハビリテーションの推進等、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組みとともに、県民に対してうつ病の予防に関する普及啓発に取り組む。</p>	<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法※の開発については、平成23年度は11人（平成22年度以前との合計71人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証し、先進医療の認定に向けて研究を進めた。</p> <p>※反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS） 8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。</p> <p>・うつ病、うつ状態による休職者や離職者の職場復帰を目的とした通所によるリハビリテーションプログラム（復職支援プログラム）を、認知行動療法や作業療法などを組み合わせ、医師のほか臨床心理士、作業療法士など職種による治療プログラムにより、1グループ12人程度、4ヶ月間を1クールとして、年4回実施した。</p> <p>また、復職等の状況を把握するため1年後のアンケートを実施したところ、離職者も含めたプログラム修了者26人中21人が復職又は就職することができた。</p>	<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法の研究においては、着実に症例を確保し、研究内容の拡充に向けて取り組むことができた。</p> <p>・うつ病等の患者の職場復帰に向け、復職支援プログラムを実施し、プログラム修了者の約8割が復職又は就職することができた。</p> <p>・うつ病予防のための公開講座については、3回実施したが、各回とも盛況で、延べ604人の参加を得て、県民に対する普及啓発に取り組むことができた。</p>	△	△	「うつ」病患者は増加しており、社会問題化している。「うつ」の復職支援プログラムの受講者数の目標値化が望まれる。				
		<p>[復職支援プログラム実施患者数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者37人 延1,559人</td> <td>実患者37人 延1,321人</td> </tr> </tbody> </table>	平成22年度	平成23年度	実患者37人 延1,559人	実患者37人 延1,321人				
平成22年度	平成23年度									
実患者37人 延1,559人	実患者37人 延1,321人									

		<p>・うつ病予防のための県民向けの公開講座を次のとおり実施した。</p> <p>第1回 期 日 平成23年10月8日(土) テーマ 「うつ病と依存症の医療を知ろう」 受講者 93人</p> <p>第2回 期 日 平成23年12月3日(土) テーマ 「うつ病医療の新しい動向を知ろう」 受講者 126人</p> <p>第3回 期 日 平成24年2月11日(土) テーマ 「双極性障害と広汎性発達障害の医療」 受講者 385人</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定を得られるようにする。 ・引き続き復職支援プログラムの更なる充実や参加者の増加を図る。 ・県民に対するうつ病予防に関する普及啓発に引き続き取り組む。 			
--	--	--	---	--	--	--

小項目 1 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>・医療観察法に基づき既に指定を受けている指定通院医療機関及び鑑定入院医療機関としての医療機能に加えて、入院治療を実施する30床規模の専門病棟の整備を推進する。</p>	<p>・心神喪失等の状態が重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）に基づく指定通院医療機関として、通院対象者を個別診療計画に沿って多職種チームが積極的に医療を実施する。</p> <p>〔指定通院医療機関の実績と目標値〕</p> <table border="1"> <tr> <td>平成21年度実績</td> <td>平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td>延1,029人</td> <td>延768人</td> </tr> </table> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の平成24年度中の開棟に向けて、建築工事に着手する。</p>	平成21年度実績	平成23年度目標値	延1,029人	延768人	<p>・医療観察法に基づく指定通院医療機関として、多職種チーム（医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等）を4チーム編成して、患者の症状に応じた個別治療計画を策定し、手厚い医療を関係機関の要請に基づいて積極的に実施した。</p> <p>・医療観察法に基づく医療提供を円滑に実施するため、かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を主宰し、県内の医療観察法の指定医療機関や保護観察所、社会福祉施設等との連携を図った。</p> <p>〔指定通院医療機関の実績（延べ患者数）〕</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度実績</td> <td>平成23年度実績</td> </tr> <tr> <td>延1,126人</td> <td>延1,315人</td> </tr> </table> <p>・「精神医療センター総合整備計画」に基づき、医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟（33床）の建築工事を進めた。</p> <p>また、病棟運営に必要な看護師については、その確保に努めるとともに、専門的な知識の習得のため他病院への交流研修を実施した。</p> <p>〔医療観察法病棟の概要〕</p> <table border="1"> <tr> <td>病床数</td> <td>33床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約3,000㎡</td> </tr> <tr> <td>建物高</td> <td>約10m</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 2階建</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成23年度実績	延1,126人	延1,315人	病床数	33床	延床面積	約3,000㎡	建物高	約10m	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	<p>実績に対する評価</p> <p>・医療観察法に基づく指定通院医療機関として、全国でもトップクラスの通院患者を受け入れている。</p> <p>・医療観察法病棟の整備について、計画どおり進めることができた。</p>	△	△	
		平成21年度実績	平成23年度目標値																			
延1,029人	延768人																					
平成22年度実績	平成23年度実績																					
延1,126人	延1,315人																					
病床数	33床																					
延床面積	約3,000㎡																					
建物高	約10m																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建																					
			<p>課題</p> <p>平成24年11月の専門病棟開棟に向け、円滑に病棟を運営するため、必要な機材の調達や具体的な運営方法の検討を進めるとともに、人材の育成などに引き続き取り組む。</p>																			

小項目 1 3 業務実績及び評価

＜評価の大項目＞

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
			自己点数	評価点数	コメント																			
<p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（せりがや病院）</p> <p>アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。</p>	<p>（せりがや病院）</p> <p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症の者と中毒性精神障害の者を対象とした外来診療のほか、ミーティングなどの集団精神療法や家族教室などの実施により、新たな外来患者の受入れに積極的に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">[外来初診患者数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成21年度実績</td> <td>平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">延776人</td> <td style="text-align: center;">延800人</td> </tr> </table> <p>・せりがや病院が薬物依存の外来患者に対して開発した再乱用防止認知行動療法（SMARPP：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）のプログラムを、入院患者や若年者用にプログラムをアレンジし、きめ細かな依存症医療を実施する。</p>	平成21年度実績	平成23年度目標値	延776人	延800人	<p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、ミーティング等を取り入れた治療プログラムや家族教室を実施したほか、受診の前日に電話連絡するなどきめ細やかな患者対応に努め、外来患者の受け入れに取り組んだ。 また、依存症医療における地域との連携・協力を進め、初診患者の紹介率を高めて、初診患者の増加に努めることとした。</p> <p>アルコール家族教室 年間22回 第1・第3木曜日 薬物家族教室 年間24回 第2・第4木曜日</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td style="text-align: center;">延19,231人</td> <td style="text-align: center;">延17,924人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td style="text-align: center;">延14,691人</td> <td style="text-align: center;">延15,023人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来初診患者数</td> <td style="text-align: center;">延734人</td> <td style="text-align: center;">延707人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬物依存の外来患者に対して開発した24回のプログラムであるSMARPPを入院患者用として16回にアレンジして、入院から外来診療まで継続して実施することで治療の継続を図るとともに、若年者用には若者向けの説明文にアレンジしたSMARPP-Jrを作成して実施した。</p> <p>※SMARPP（Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）とは、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形で、せりがや病院で修正したものである。</p>	区分	平成22年度実績	平成23年度実績	入院患者数	延19,231人	延17,924人	外来患者数	延14,691人	延15,023人	区分	平成22年度実績	平成23年度実績	外来初診患者数	延734人	延707人	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px;">B</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p style="font-size: 24px;">B</p>	<p>外来初診患者数は目標値を下回ったが、人数のみで評価することが適当かどうか検討を要する。外来初診患者数以外の目標設定など、年度計画の視点について今後検討していただきたい。</p>
平成21年度実績	平成23年度目標値																							
延776人	延800人																							
区分	平成22年度実績	平成23年度実績																						
入院患者数	延19,231人	延17,924人																						
外来患者数	延14,691人	延15,023人																						
区分	平成22年度実績	平成23年度実績																						
外来初診患者数	延734人	延707人																						

・高齢者の入院の繰り返しを防止するため、高齢者を対象とする入院治療プログラムの充実を図る。

・自助グループ等への参加が難しいアルコール依存患者に対して、従来からのアルコール外来ミーティングに加え、外来作業療法の充実を図る。

・依存症医療を効率的に提供するため、紹介・逆紹介などの地域医療連携に加え、県市の保健所等の行政機関との連絡協議を実施するなど、せりがや病院で実施している治療プログラム（自助グループとの連携も含む。）を県全体に普及させる方策を検討する。

[SMARPP実施患者数の実績]

平成22年度	平成23年度
実患者数100人 延700人	実患者数97人 延790人

・入院患者に占める高齢者の割合が増加する中、高齢のため通常のプログラムへの参加が困難な患者等を対象にした入院治療プログラムについて、身体機能を意識したり、季節感を取り入れたメニューなどプログラムの充実を図った。

区分	平成22年度	平成23年度
65歳以上の入院患者の割合	7.4%	14.7%
高齢者向け入院治療プログラム実施患者数	実患者数 19人 延患者数 97人	実患者数 34人 延患者数 138人

・断酒会等自助グループへの参加が困難な患者に対して、アルコール外来ミーティングに加えて手工芸、塗り絵などの作業療法に、リラックスとリフレッシュを兼ねた身体活動も取り入れ、プログラムの充実を図った。

[外来作業療法患者数の実績]

平成22年度	平成23年度
実患者数18人 延188人	実患者数16人 延321人

・地域医療連携では、保健所等の行政機関との連絡協議を実施したほか、学校における薬物乱用防止教室などの講演会や地域のケアマネージャー対象の研修会を通じてせりがや病院で実施しているプログラムのPRに努めた。

課題

・診療のキャンセルが多いという患者特性があるが、前日に電話で受診を促すなどして初診キャンセルの減少に努めるとともに、広報や地域の医療機関との連携を通して、外来初診患者の確保を図る。処方薬による薬物依存や脱法ハーブへの対応にも積極的に取り組む。

・引き続き専門治療プログラムによる依存症医療を着実に実施していく。

小項目 1 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
<p>ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療待ち、手術待ちの患者が多数いる状況を改善するため、外来診療及び手術実施体制の整備、充実を図る。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成20年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,471件</td> <td style="text-align: center;">3,900件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	2,471件	3,900件	<p>・手術実施体制の充実を図り、手術待ちの患者が多数いる状況を改善する。</p> <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成21年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,514件</td> <td style="text-align: center;">2,700件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	2,514件	2,700件	<p>平成23年度は、平成22年度に引き続き、手術室のスタッフ間で日々の手術室運営について、手術と手術の合間の時間の短縮、手術後の使用材料記録の簡便化等業務の効率的な運用を継続したことにより、手術件数は、平成22年度と同水準となった。</p> <p>[手術件数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年度</td> <td style="width: 50%;">平成23年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,565件</td> <td style="text-align: center;">2,564件</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	2,565件	2,564件	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>手術の内容については、平成21年度当時に比べ、平成22年度、平成23年度は、麻酔科管理の長時間、難易度の高い手術が増加している。そうした中で、目標件数には届かなかったものの、平成22年度の手術件数を維持することができた。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>診療待ち・手術待ち患者が多数いる状況の改善を図るため、平成25年11月の新病院開業までに手術室の効率的な運用体制の確立を図る必要がある。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	
平成20年度実績	平成26年度目標値																	
2,471件	3,900件																	
平成21年度実績	平成23年度目標値																	
2,514件	2,700件																	
平成22年度	平成23年度																	
2,565件	2,564件																	

小項目 16 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			自己点数	評価点数	コメント									
<p>・放射線治療を充実するため、3次元照射が可能な放射線治療装置や重粒子線治療装置を導入する。</p>	<p>・より精度の高い放射線治療を実施するため、高精度リニアックへの更新を行う。</p>	<p>【放射線治療】 放射線治療については、6月から12月まで、第1リニアックでの治療を更新のため休止していたが、再開後、遅滞なく治療が行えるよう、診療放射線技師が先行する施設への派遣研修や講習会に参加するとともに、11月から医師会や他施設に対し再稼働のお知らせを行い、1月に新リニアックでの治療を積極的に進めた結果、2月、3月は前年度の月平均まで実施することができた。 新リニアックは、強度変調放射線治療IMRTを備えており、不均等な強度照射が可能となったことから、がんの形に合わせた、より精度の高い照射が行えるようになった。</p>	<p>実績に対する評価</p>	△	△									
							<p>・新規導入リニアックでの強度変調放射線治療IMRTを3例、定位照射を2例実施するなど、患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高精度放射線治療を積極的に進めることができた。</p> <p>・平成23年度は、重粒子線治療施設の建屋実施設計を進めるとともに、装置製造請負契約を締結し、装置の製造に着手し、当初の計画どおり業務を進めた。</p>							
	<p>[放射線治療件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,696件</td> <td>7,100件</td> </tr> </tbody> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	15,696件	7,100件	<p>[放射線治療件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,109件</td> <td>10,243件</td> </tr> </tbody> </table>	平成22年度	平成23年度	19,109件	10,243件				
平成21年度実績	平成23年度目標値													
15,696件	7,100件													
平成22年度	平成23年度													
19,109件	10,243件													
		<p>[平成23年度の照射治療]</p> <p>非対向照射 4,417件 (前年度対比 △ 2,684件) 多門照射 2,006件 (前年度対比 △ 3,710件) 単純照射 3,756件 (前年度対比 △ 758件) IMRT 56件 (前年度対比 56件) 定位照射 8件 (前年度対比 8件)</p> <p>結果として、放射線治療件数は、10,243件となり、年度目標達成率は144.3%と、目標を達成することができた。</p>												

・平成26年度からの重粒子線治療開始に向けて、重粒子線治療装置を導入するため、施設の実施設計及び装置製作を行う。

・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を採用し、先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより人材育成を図る。

【重粒子線治療装置】

・従来の放射線治療では効果が上がりにくいがんに対し、治療効果が期待され、かつ副作用が少ないとされる最先端の重粒子線治療装置を導入し、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に質の高いがん医療を提供するため整備を進めている。

【重粒子線治療装置概要】

建築面積	2,999㎡
延床面積	6,492㎡
階数	地下2階、地上1階建て
構造	RC造、一部鉄骨造を検討
治療室数	4治療室 6治療ポート

・先行重粒子治療施設への研修派遣を行い人材育成を図った。平成23年4月から同年10月までの期間に1人を、同年10月から平成24年10月(予定)までに1人を放射線医学総合研究所に派遣している。

・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成24年2月に県民を対象とした講演会を開催した。

課題

・今後は呼吸同期治療法等の新たな治療技術の導入に対し、診療放射線技師の育成をより強化した運用体制を図る必要がある。

・重粒子治療施設については、建屋の実施設計も現在行っており、装置と建屋間の設計調整及び今後の進捗管理が課題となる。また、順調な運営を行うため、放射線治療医、放射線技師等の採用と重粒子線治療を先行して行っている施設への派遣研修などを行い、人材の育成を図る必要がある。

小項目 17 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																									
<p>・専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内の医療従事者を対象に研修等を行う。さらに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p> <p>(参考) がん専門研修実績 (平成20年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	緩和ケア研修	2回	94人	<p>・がん専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。</p> <p>・都道府県がん診療連携拠点病院^{※6}としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象に研修等を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p> <p>[がん専門研修の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成21年度実績</th> <th colspan="2">平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>25回</td> <td>514人</td> <td>30回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>61人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 緩和ケア研修は、2回で1コース</p>	区分	平成21年度実績		平成23年度目標値		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	25回	514人	30回	600人	緩和ケア研修	2回	61人	2回	50人	<p>都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象にがん臨床講座や緩和ケア研修会を開催した。また、がん専門医を目指す若い後期臨床研修医(いわゆるレジデント)の教育、看護師等医療スタッフの育成、がん薬物療法専門医の育成に寄与した。</p> <p>[がん専門研修の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>33回</td> <td>648人</td> <td>31回</td> <td>626人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(毎週水曜日 18:30~19:30)</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>1コース</td> <td>55人</td> <td>1コース</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(2日で1コース H24年2月5・6日)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度		平成23年度		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	33回	648人	31回	626人	(毎週水曜日 18:30~19:30)					緩和ケア研修	1コース	55人	1コース	67人	(2日で1コース H24年2月5・6日)					<p>実績に対する評価</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p>がん臨床講座及び緩和ケア研修会をほぼ年度目標どおりに開催できたほか、がん薬物療法専門医資格の取得など人材の育成に繋がった。</p>	<p style="text-align: center;">△</p>	<p>課題</p> <p>引き続きがん医療の均てん化に向け専門医等の育成を進める必要がある。</p>
区分	回数	参加人数																																																												
がん臨床講座	30回	568人																																																												
緩和ケア研修	2回	94人																																																												
区分	平成21年度実績		平成23年度目標値																																																											
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																										
がん臨床講座	25回	514人	30回	600人																																																										
緩和ケア研修	2回	61人	2回	50人																																																										
区分	平成22年度		平成23年度																																																											
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																										
がん臨床講座	33回	648人	31回	626人																																																										
(毎週水曜日 18:30~19:30)																																																														
緩和ケア研修	1コース	55人	1コース	67人																																																										
(2日で1コース H24年2月5・6日)																																																														

小項目 18 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- オ 循環器呼吸器病センター
- 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
- また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
<p>ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓カテーテル・手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制を充実する。 <p>(参考) P C I 症例数実績 (H20年度) 414件</p>	<p>・心臓カテーテルや手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制の充実を図る。</p> <table border="1"> <caption>[P C I 症例数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成21年度実績</td> <td>平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td>329件</td> <td>300件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[心臓手術の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成21年度実績</td> <td>平成23年度目標値</td> </tr> <tr> <td>31件</td> <td>80件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	329件	300件	平成21年度実績	平成23年度目標値	31件	80件	<p>・ P C I については、適応の厳格化や再狭窄率の少ない薬剤溶出性ステントの普及等により、症例数が減少しているが、その一方で、不整脈疾患の内科的治療であるカテーテルアブレーションの充実を図っている。</p> <p>このカテーテルアブレーションについては、当センターが独自に作成している病院業務目標に設定（23年度は84件）し、心房細動に適応を拡大するなど、積極的な取組を進めた。</p> <p>・心臓手術については、手術手技の確立と手術実施体制の維持を図り、件数が大きく増加した22年度を更に上回る実施件数となった。難易な術症例が多いものの、良好な成績を収めている。</p> <table border="1"> <caption>[P C I 症例数の実績]</caption> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>279件</td> <td>265件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[心臓手術の実績]</caption> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>78件</td> <td>83件</td> </tr> </table> <p>参考 [カテーテルアブレーション件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>65件</td> <td>87件</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	279件	265件	平成22年度	平成23年度	78件	83件	平成22年度	平成23年度	65件	87件	<p>実績に対する評価</p> <p>P C I 症例件数は減少しているが、カテーテルアブレーションの実績は伸びている。</p> <p>また心臓手術件数は目標値80例のところ、実績は83例で達成率103.8%であった。</p> <p>医療の高度化、心不全患者の高齢化、複合疾患の増加といった医療ニーズが変化するなかで、関連部署間の連携強化、スタッフの育成など、治療体制の充実と医療の質的向上に努めている。</p>	Λ	Λ	
		平成21年度実績	平成23年度目標値																							
		329件	300件																							
平成21年度実績	平成23年度目標値																									
31件	80件																									
平成22年度	平成23年度																									
279件	265件																									
平成22年度	平成23年度																									
78件	83件																									
平成22年度	平成23年度																									
65件	87件																									
			<p>課題</p> <p>今後も低侵襲治療をより多くの患者に実現できるよう体制を整備する必要がある。また各部署との連携により緊急症例への迅速な対応が可能な体制を強化していきたい。</p>																							

小項目 19 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- オ 循環器呼吸器病センター
- 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
- また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価				
			自己点数	評価点数	コメント				
<p>・肺がん治療を強化するため、身体への負担が少ない胸腔鏡下手術や化学療法、放射線治療を実施する体制を充実する。</p>	<p>・外来及び入院患者への化学療法実施体制を整備し、肺がん治療を強化する。</p> <p>・より精度の高い放射線治療を実施するため、高精度リニアックへの更新を行う。</p>	<p>・チーム医療の推進をはじめ、がん化学療法実施体制の整備、充実を図るとともに、地域医療との連携を強化することにより、肺がん患者については、延患者で平成22年度の3,915人から平成23年度は4,069人と154人増加した。</p> <p>・胸腔鏡下手術については、呼吸器系患者数の減少による影響が出ていることから、横浜市医師会等の協力を得ながら、広報等に積極的に取り組み、実患者の確保に努めた。</p> <p>・間質性肺炎については、平成23年度から専門外来担当医師をこれまでの1人から2人に強化し、質を重視した診療に努め、患者数も目標を上回った。</p> <p>・また、平成24年度の稼働開始に向け、高精度リニアックへの更新及びその専用棟の建設工事を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>△</p>	<p>△</p>	<p>コメント</p>				
						<p>課題</p> <p>・肺がん治療には総合的アプローチが必要であり、医師、看護師、コメディカル等の多職種による包括的診療チームをより一層強化していく必要がある。</p> <p>・肺がん患者が増加している現状を踏まえると、呼吸器外科医師等の増員を図り、今後ともQOLを極力落とさない低侵襲外科治療をより多くの患者に実現できるような体制を整備する必要がある。</p>			
						<p>[胸腔鏡下手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>290件</td> <td>327件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	290件
平成21年度実績	平成23年度目標値								
290件	327件								
平成22年度	平成23年度								
326件	278件								
<p>[化学療法件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>1,030件</td> <td>1,100件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	1,030件	1,100件	<p>[化学療法件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> <tr> <td>1,194件</td> <td>1,189件</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	1,194件	1,189件
平成21年度実績	平成23年度目標値								
1,030件	1,100件								
平成22年度	平成23年度								
1,194件	1,189件								
<p>[間質性肺炎の新規の外来患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>121件</td> <td>130件</td> </tr> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	121件	130件	<p>[間質性肺炎の新規外来患者数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> <tr> <td>192件</td> <td>176件</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	192件	176件
平成21年度実績	平成23年度目標値								
121件	130件								
平成22年度	平成23年度								
192件	176件								

小項目 20 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価											
			自己点数	評価点数	コメント											
<p>・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を継続的に実施する。</p>	<p>・多剤耐性結核^{※8}対策等の総合的な結核医療を実施する。</p>	<p>・結核患者の高齢化が進んでおり、患者自身による自己管理が困難なこと、また、結核以外の疾患の治療が必要な患者、介護を必要とする患者が増えていることから、当センターでは、退院後にDOTS（直接服薬確認短期治療法）を行う支援者を決めてから退院することとし、毎月地域の保健所などと定期的な会議を開くなど、患者の服薬が継続できる仕組み作りを進めている。このほか23年度は結核患者の多い中区保健所との連携会議を2回開催し、地域ぐるみの患者支援の強化に努めた。</p> <p>・多剤耐性結核対策については、多剤耐性結核の発生及びまん延を防ぐため、適切な医療を行うことにより結核患者を確実に治癒させるとともに、治療の中断者が発生しないよう患者管理に努めた。</p> <p>[結核病棟延入院患者数の推移] (下段は1日当たり)</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> <tr> <td>14,136人</td> <td>13,478人</td> </tr> <tr> <td>(38.7人)</td> <td>(36.8人)</td> </tr> </table> <p>[多剤耐性結核患者の推移]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	14,136人	13,478人	(38.7人)	(36.8人)	平成22年度	平成23年度	2人	2人	<p>実績に対する評価</p> <p>退院時の直接服薬確認を行える支援者の決定のため、平成23年度は新たに保健所との連携会議を開催するなど、地域との連携に努めた。</p> <p>県内において、結核病床が縮小するなか、県立病院の社会的使命として結核医療を継続して実施している。</p> <p>現在、横浜市内の結核病棟は当センター以外には少なく、神奈川県全域から排菌陽性患者を受け入れている状況である。</p>	△	△	
			平成22年度	平成23年度												
			14,136人	13,478人												
(38.7人)	(36.8人)															
平成22年度	平成23年度															
2人	2人															
<p>課題</p> <p>結核患者の高齢化が進むなかで、今後、結核医療を的確に継続していくためには、患者の年齢や介護度に見合った看護師の確保が必要である。</p> <p>退院先が決まらない患者については、保健所や保健施設等との情報交換を積極的に実施し、地域の連携を強めていく必要がある。</p>																

小項目 2 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期計画

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																				
ウ 医療機能の評価する指標の設定 病院の医療機能の評価するため、年度計画に病院ごとの指標を明示し、その実績を公表する。	力 医療機能の評価する指標の設定 平成23年度から全病院が取り組む「病院機構の共通指標（別表第1）」及び各病院の持つ専門性、地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（別表第2）」を設定し、その実績の測定を行うことにより、医療の質の向上を目指す取組を明確化する。 また、平成24年度に向けて指標の追加・修正の必要性、実績の公表方法等の検討を行う。 (7) 病院機構の共通指標 8指標 【患者サービス（患者の視点に立った病院経営）】 ・患者満足度の把握（患者満足度調査） ・地域連携室等の相談件数 【標準的医療の推進】 ・クリティカルパス ^{※9} の設定数 ・退院サマリー ^{※10} の2週間以内完成率 【医療安全・予防医療の取組】 ・インシデント・アクシデント発生・報告状況 ・褥瘡患者発生率 【人材育成と教育】 ・新卒看護師 ^{※11} 離職率 ・専門・認定看護師数	平成23年度に取り組んだ「病院機構の共通指標（8指標）」と、各病院の持つ専門性・地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（16指標）」の実績の測定結果は、次のとおりである。 1 患者満足度の把握（患者満足度調査） [平成23年度満足度調査結果] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">入院</th> <th colspan="3">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>95人</td> <td>128人</td> <td>74.2%</td> <td>171人</td> <td>301人</td> <td>56.8%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>129人</td> <td>174人</td> <td>74.1%</td> <td>887人</td> <td>1,269人</td> <td>69.9%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>79人</td> <td>125人</td> <td>63.2%</td> <td>156人</td> <td>301人</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>31人</td> <td>43人</td> <td>72.1%</td> <td>131人</td> <td>165人</td> <td>79.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>261人</td> <td>295人</td> <td>88.5%</td> <td>630人</td> <td>765人</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>183人</td> <td>210人</td> <td>87.1%</td> <td>365人</td> <td>412人</td> <td>88.6%</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。 2 地域連携室等の相談件数 [相談件数実績（地域医療連携室等への診療相談）] <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11,264件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>21,933件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4,679件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>391件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9,354件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11,416件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	入院		外来			満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度	足柄上病院	95人	128人	74.2%	171人	301人	56.8%	こども医療センター	129人	174人	74.1%	887人	1,269人	69.9%	芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%	せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%	がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%	循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%	病院名	平成23年度	足柄上病院	11,264件	こども医療センター	21,933件	芹香病院	4,679件	せりがや病院	391件	がんセンター	9,354件	循環器呼吸器病センター	11,416件	実績に対する評価 医療技術が日々進歩する中、県立病院が心あたたかい医療を、質の高い技術で提供するための医療機能の評価する指標を新たに設定し、その実績の測定を行うことにより、医療の質の向上を目指す取組を開始した。	△	△	患者満足度の把握にあたっては、満足度調査の回答総数だけでなく、調査対象数（母数）についても示したほうがよい。相談については件数実績だけではなく、相談後の対応を共通項目として整理したほうがよい。設定した指標を県民にわかりやすく伝えるため公表の仕方を工夫する必要がある。
				病院名	入院		外来																																																																			
満足評価	回答総数	満足度	満足評価		回答総数	満足度																																																																				
足柄上病院	95人	128人	74.2%	171人	301人	56.8%																																																																				
こども医療センター	129人	174人	74.1%	887人	1,269人	69.9%																																																																				
芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%																																																																				
せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%																																																																				
がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%																																																																				
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%																																																																				
病院名	平成23年度																																																																									
足柄上病院	11,264件																																																																									
こども医療センター	21,933件																																																																									
芹香病院	4,679件																																																																									
せりがや病院	391件																																																																									
がんセンター	9,354件																																																																									
循環器呼吸器病センター	11,416件																																																																									
			課題 医療機能の評価するための指標による取組内容の評価、分析を行い、質の高い医療の提供につなげるよう改善を進める必要がある。																																																																							

3 クリティカルパスの設定数

[クリティカルパスの件数実績]

病院名	平成23年度
足柄上病院	70件
こども医療センター	29件
芹香病院	3件
せりがや病院	3件
がんセンター	32件
循環器呼吸器病センター	20件

4 退院サマリーの2週間以内完成率

[退院サマリーの2週間以内完成率（平成23年度実績）]

平成23年度目標値 80.0%

	分子	分母	測定値
	担当医が退院後2週間以内にサマリーを完成した数	退院患者数	2週間以内完成率
足柄上病院	5,100件	6,046人	84.4%
こども医療センター	5,783件	6,879人	84.1%
芹香病院	604件	607人	99.5%
せりがや病院	261件	340人	76.8%
がんセンター	7,126件	7,647人	93.2%
循環器呼吸器病センター	3,945件	4,226人	93.4%

5 インシデント・アクシデント発生・報告状況

医療安全に関する指標（ヒヤリ・ハット事例、医療事故） 平成23年度実績

病院名	ヒヤリ・ハット事例					医療事故				総計	ヒヤリ・ハット事例発生率	医療事故発生率
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5	小計			
足柄上病院	276件	1,158件	311件	25件	1,770件	4件	0件	0件	4件	1,774件	99.8%	0.2%
こども医療センター	295件	1,898件	88件	25件	2,306件	7件	0件	0件	7件	2,313件	99.7%	0.3%
芹香病院	53件	261件	65件	17件	396件	4件	0件	0件	4件	400件	99.0%	1.0%
せりがや病院	35件	107件	19件	3件	164件	0件	0件	0件	0件	164件	100.0%	0.0%
がんセンター	292件	1,369件	79件	14件	1,754件	4件	0件	0件	4件	1,758件	99.8%	0.2%
循環器呼吸器病センター	199件	818件	248件	16件	1,281件	3件	0件	0件	3件	1,284件	99.8%	0.2%
総計	1,150件	5,611件	810件	100件	7,671件	22件	0件	0件	22件	7,693件	99.7%	0.3%

6 褥瘡患者発生率

[褥瘡患者発生率（平成23年度実績）]

平成23年度目標 褥瘡発生の防止

病院名	分子	分母	測定値
	新規褥瘡発生患者数（新規褥瘡発生件数）	入院患者数	褥瘡発生率
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%
芹香病院	6件	2,401人	0.20%
せりがや病院	1件	359人	0.28%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%

7 新卒看護師離職率

[新卒看護師離職率の実績]

平成23年度目標値 9.5%未満

区分	平成23年度
病院機構の新卒看護師採用人数	122人
病院機構の新卒看護師退職人数	14人
病院機構の新卒看護師離職率	11.5%

8 専門・認定看護師数

[専門看護師等の有資格者数実績]

区分	平成23年度
専門看護師	15人
小児看護	5人
がん看護	7人
家族看護	2人
慢性疾患看護	1人
認定看護管理者	3人
認定看護師	51人
皮膚・排泄ケア	6人
集中ケア	8人
がん性疼痛看護	16人
がん化学療法	3人
乳がん看護	1人
緩和ケア	6人
感染管理	7人
糖尿病看護	0人
小児救急看護	2人
新生児集中ケア	2人
精神科認定看護師	5人
計	74人

(4) 各病院の専門性・特性に応じた指標 16指標

【足柄上病院】
 ・糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c^{*12}<7.0
 ・心筋梗塞の治療開始時間
 ・肺炎患者における抗菌薬投与前の血液培養実施率

【こども医療センター】
 ・1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
 ・ハイリスク妊娠^{*13}取扱率
 ・患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
 ・在宅療養指導実施件数

【芹香病院】
 ・医療観察法の通院医療延患者数
 ・全県における救急病棟の措置入院の受入率
 ・外来患者への訪問看護延件数

【せりがや病院】
 ・初診患者の紹介率

【がんセンター】
 ・主たる手術の包括算定の対象入院期間^{*14}以内の割合
 ・英文原著論文数及びそのインパクトファクター^{*15}
 ・専門看護外来患者数

【循環器呼吸器病センター】
 ・急性心筋梗塞患者における病院到着からP C I^{*7}による再開通までの時間
 ・手術中の麻酔関連偶発症の発生率

9 糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c<7.0
 [足柄上病院]
 実績値 76.2% (目標値 50%以上)
 (分子) HbA1c<7.0の患者数 1,090人
 (分母) インスリン又は経口血糖降下薬を処方されている患者数 1,430人

10 心筋梗塞の治療開始時間(Door to Balloon Time)
 [足柄上病院]
 実績値 69.0% (目標値 55%以上)
 (分子) 来院から初回冠動脈拡張術までの時間が90分以内の患者数 20人
 (分母) 緊急冠動脈形成術施行患者数 29人

11 肺炎患者における抗菌薬投与前の血液培養実施率
 [足柄上病院]
 実績値 58.7% (目標値 70%以上)
 (分子) 血液培養を実施した患者数 144人
 (分母) 細菌性肺炎の患者数 245人

12 1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
 [こども医療センター]
 実績値 112件 (目標値 40件)

13 ハイリスク妊娠取扱率
 [こども医療センター]
 実績値 57.7% (目標値 29%)
 (分子) ハイリスク妊娠管理加算又はハイリスク分娩管理加算の算定対象患者数 256件
 (分母) 全分娩件数 444件

14 患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
 [こども医療センター]
 実績値 57.0% (目標値 70%)
 (分子) 患者・家族の意見を反映させた看護計画の実施患者数 2,261件
 (分母) クリティカルパス適用及び一日入院患者を除いた入院実患者数 3,967件

患者入院時には標準看護計画に加え、原則全ての患者・家族の意見を反映させた看護計画をたてている。その後、文書化したものを患者・家族に提示し、了解を得たものを「患者・家族の意見を反映させた看護計画」として管理している。

- 15 在宅療養指導実施件数
[こども医療センター]
実績値 1,172件 (目標値 1,200件)
- 16 医療観察法の通院医療延べ患者数
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 1,315人 (目標値 768人)
- 17 全県における救急病棟の措置入院の受入率
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 19.0% (目標値 20%)
(分子) 1年間の措置入院延件数 108件
(分母) 1年間の全県の延措置入院件数 567件
- 18 外来患者への訪問看護延件数
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 2,990件 (目標値 2,500件)
- 19 初診患者の紹介率
[精神医療センター せりがや病院]
実績値 34.9% (目標値 40%)
(分子) 1年間の紹介患者延数 242人
(分母) 1年間の初診患者延数 693人
- 20 主たる手術の包括算定の対象入院期間Ⅱ以内の割合
[がんセンター]
①肺の悪性腫瘍
実績値 95.53% (目標値 90%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(14日)以内
の手術数 278件
(分母) 手術数 291件
②胃の悪性腫瘍
実績値 94.44% (目標値 90%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(20日)以内
の手術数 136件
(分母) 手術数 144件
③乳房の悪性腫瘍
実績値 80.51% (目標値 70%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(9日)以内
の手術数 252件
(分母) 手術数 313件

- | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|
| | <p>21 英文原著論文数及びそのインパクトファクター(1F)
[がんセンター]
実績値
日本病理学会の英文誌 1.488点
(Pathology International)
臨床研究所の平均 2.878点 (118÷41=2.878)
(分子) インパクトファクター 118点
(分母) 論文数 41件</p> <p>22 専門看護外来患者数
[がんセンター]
実績値 1,879人 (目標値 2,000人)</p> <p>23 急性心筋梗塞患者における病院到着からP C I
による再開通までの時間
[循環器呼吸器病センター]
実績値 73.5% (目標値 80%以上)
(分子) 来院から初回冠動脈拡張術までの時間
が90分以内の患者数 25人
(分母) 緊急冠動脈形成術施行患者数 34人</p> <p>24 手術中の麻酔関連偶発症の発生率
[循環器呼吸器病センター]
実績値 (目標値 0%)
平成23年度における麻酔関連偶発症の発生事例はない。</p> | | | | |
|--|---|--|--|--|--|

小項目 2 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- (2) 医療機器・施設整備の推進
 医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
 また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>ア 医療機器整備の推進</p> <p>県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、計画的に3次元照射が可能な放射線治療装置、全身用コンピュータ断層撮影装置等の医療機器を整備する。</p>	<p>ア 医療機器整備の推進</p> <p>・高額医療機器について、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおける高精度リニアックの更新をはじめとした計画的な整備、更新を行う。</p> <p>・通常の医療機器について、計画的な整備により老朽化した機器を更新する。</p>	<p>医療技術の進展や、経年劣化への対応を目的として、高額医療機器12品目を含めた医療機器の整備・更新を進めた。</p> <p>【高額医療機器】 [足柄上病院] P A C S (画像情報ネットワークシステム) [こども医療センター] 内視鏡システムセット、オペ室画像システム ナビゲーションシステム、E O G滅菌装置 [がんセンター] 全自動分子間相互作用解析システム リニアック、超音波診断装置、C T 手術部門システム及び手術室モニタリングシステム 手術用顕微鏡 [循環器呼吸器病センター] リニアック</p> <p>【通常医療機器】 [足柄上病院] 心臓・血管超音波診断装置 等 [こども医療センター] 心臓カテーテルモニタリングシステム 等 [芹香病院] 全自動錠剤分包機 等 [せりがや病院] ベッドサイドモニタ 等 [がんセンター] 電子内視鏡ビデオシステム 等 [循環器呼吸器病センター] 循環器超音波画像診断システム 等</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>臨床部門・研究部門からの要請も踏まえながら、計画的に整備・更新を進めた。</p>	△	△	医療機器整備の推進にあたっての具体的な目標の立て方について検討を要する。
			<p>課題</p> <p>高度化・多様化する医療ニーズに対応するため、整備を一層進めていく必要がある。</p>			

小項目 2 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- ア がんセンターの総合整備の推進
- がんセンターについては、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため、平成25年度中の診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を着実に推進すること。
- また、がんセンターの機能充実を図るため、平成26年度からの治療開始を目指し、重粒子線治療装置の導入を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																				
<p>イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院として、本県におけるがん医療の中心的な役割を担うため、平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を計画的に推進する。</p> <p>また、平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療装置の導入を進める。</p>	<p>イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>・平成25年度中の新病院開業・診療開始に向けて、建築工事に着手する。また、SPC^{*16}との運営協議や医療機器・備品の調達準備等を進める。</p> <p>・平成26年度からの重粒子線治療開始に向けて、重粒子線治療装置を導入するため、施設の実施設計及び装置製作を行う。</p> <p>・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を採用し、先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより人材育成を図る。</p>	<p>【がんセンター総合整備】</p> <p>・民間活力等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)に基づき、神奈川メディカルサービス(株)(大林組・ニチイ学館グループが出資設立。以下「SPC」という。)との間で特定事業契約を締結し、総合整備事業をPFI手法で進めている。</p> <p>平成25年11月の新病院開業・診療開始を目指し、建設事業については、平成23年6月に実施設計を完了し、7月から建設工事を着工した。</p> <p>【新がんセンター施設概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設概要</th> <th>新病院</th> <th>現病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>415床</td> <td>415床</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約46,500㎡</td> <td>33,535.06㎡</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約37,425㎡</td> <td>18,276.30㎡</td> </tr> <tr> <td>患者駐車場</td> <td>約300台</td> <td>206台</td> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>12室</td> <td>6室</td> </tr> <tr> <td>ICU</td> <td>6床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>18床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>外来診療室</td> <td>56室</td> <td>32室</td> </tr> <tr> <td>外来化療室</td> <td>50床</td> <td>24床</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>リニアック 4台</td> <td>リニアック 2台</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>-</td> <td>マイクマトロン 1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>・SPCとは定期的に各種会議を開催し、情報交換・意思疎通を密に行っている。現場定例会議を48回、マネジメント総合会議を11回開催したほか、開院後の維持管理・運営業務についての協議を行った。</p>	施設概要	新病院	現病院	病床数	415床	415床	延床面積	約46,500㎡	33,535.06㎡	敷地面積	約37,425㎡	18,276.30㎡	患者駐車場	約300台	206台	手術室	12室	6室	ICU	6床	6床	HCU	18床	6床	外来診療室	56室	32室	外来化療室	50床	24床	放射線治療	リニアック 4台	リニアック 2台	放射線治療	-	マイクマトロン 1台	<p>実績に対する評価</p> <p>新病院の建設工事については当初の計画通り、平成23年7月に着工し、順調に工事が進んでいる。</p> <p>開院に向けて、SPCとの運営協議、医療機器・備品や病院情報システムの整備等の準備も計画通り進めている。</p>	△	△	
施設概要	新病院	現病院																																								
病床数	415床	415床																																								
延床面積	約46,500㎡	33,535.06㎡																																								
敷地面積	約37,425㎡	18,276.30㎡																																								
患者駐車場	約300台	206台																																								
手術室	12室	6室																																								
ICU	6床	6床																																								
HCU	18床	6床																																								
外来診療室	56室	32室																																								
外来化療室	50床	24床																																								
放射線治療	リニアック 4台	リニアック 2台																																								
放射線治療	-	マイクマトロン 1台																																								

課題

・開院に向けて、新病院におけるSPCによる維持管理・運營業務について詳細な協議を進めるとともに、移転計画を策定し、スムーズな移転・開院ができるよう開院時の人員・業務体制、収支計画等の検討を進め、移転に伴う診療制限等の影響を最小限に抑えていく必要がある。

・さらに、今後、新病院の建設工事と重粒子線治療施設の建設工事との間の詳細な調整が必要となる。

【重粒子線治療装置】

・従来の放射線治療では効果が上がりにくいがんに対し、治療効果が期待され、かつ副作用が少ないとされる最先端の重粒子線治療装置を導入し、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に質の高いがん医療を提供するため整備を進めている。

・平成23年度は、重粒子線治療施設の建屋実施設計を進めるとともに、装置製造請負契約を締結し、装置の製造に着手した。

・先行重粒子治療施設への研修派遣を行い人材育成を図った。平成23年4月から同年10月までの期間に1人を、同年10月から平成24年10月(予定)までに1人を放射線医学総合研究所に派遣している。

【重粒子線治療装置概要】

建築面積	2,999㎡
延床面積	6,492㎡
階数	地下2階、地上1階建て
構造	RC造、一部鉄骨造を検討
治療室数	4 治療室 6 治療ポート

・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成24年2月に県民を対象とした講演会を開催した。

小項目 2 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

イ 精神医療センターの総合整備の推進
 精神医療センターについては、医療観察法等、新たな精神科医療への対応や、建築後約40年経過し老朽化が進んでいること等の課題があることから、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備計画の推進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																
(イ)精神医療センター総合整備の推進 医療観察法指定入院医療機関としての病棟整備をはじめ、新たな精神科医療への対応を図るため、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備を推進する。	(イ) 精神医療センター総合整備の推進 ・医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の平成24年度中の開棟に向けて、建築工事に着手する。 ・思春期医療など新たな精神科医療へ対応するとともに、施設の老朽化が進み耐震化が求められている精神医療センターの医療環境の改善を図るため、新棟建設の基本・実施設計を行う。	【医療観察法病棟】 ・医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の平成24年11月の開棟に向けて、建築工事を実施した。 平成23年10月に工事を開始し、平成24年3月までに1階部分の躯体が完成した。 【医療観察法病棟の概要】 <table border="1"> <tr><td>病床数</td><td>33床</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>約3,000㎡</td></tr> <tr><td>建物高</td><td>約10m</td></tr> <tr><td>建物構造</td><td>鉄筋コンクリート造 2階建</td></tr> </table> 【新棟(新病院)】 ・精神医療センター総合整備計画に基づき、施設の老朽化や新たな精神科医療への対応、さらには芹香病院とせりがや病院の統合による効率的な病院運営を図るため、新棟建設に向けた基本・実施設計を行った。東日本大震災の状況等を鑑み、より一層安全性を高めるため免震構造を導入することとした。また、環境に配慮し、太陽光発電装置を設置することとした。 【新棟の概要】 <table border="1"> <tr><td>病床数</td><td>8病棟290床</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>約22,000㎡</td></tr> <tr><td>建物高</td><td>約20m</td></tr> <tr><td>建物構造</td><td>鉄筋コンクリート造 5階建</td></tr> </table>	病床数	33床	延床面積	約3,000㎡	建物高	約10m	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	病床数	8病棟290床	延床面積	約22,000㎡	建物高	約20m	建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建	実績に対する評価 ・医療観察法病棟について、着実に整備を進めることができた。 ・新棟については、基本・実施設計を着実に実施することができた。	△	△	
			病床数	33床																		
延床面積	約3,000㎡																					
建物高	約10m																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建																					
病床数	8病棟290床																					
延床面積	約22,000㎡																					
建物高	約20m																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建																					
			課題 医療観察法病棟の平成24年11月の開棟に向けて、進行管理に努め、建築工事等を着実に進めていく。 また、新病院の平成26年度の開棟に向けて、平成24年度に建築工事に着手するとともに、運営方法等について検討を進めていく。																			

小項目 25 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

(2) 医療機器・施設整備の推進

医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(ウ) その他の施設整備の推進 老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、担うべき診療機能にふさわしい整備を進める。	(ウ) その他の施設整備の推進 こども医療センターにおいて、小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保、及び災害時の医療機能維持を目的に、医師宿舎の改修工事及び看護師宿舎の建築工事に着手する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保及び災害時の医療機能維持を目的に、医療従事者宿舎の新築工事及び改修工事に着手した。 ・医療従事者宿舎の新築工事は、職員駐車場を建設予定地として、平成24年1月に着工し、平成24年度中の完成を予定している。 ・医療従事者宿舎の改修工事は、居住者のないせりがや第二医療職員公舎を転用し、平成23年11月に着工し、平成24年度中の完成を予定している。 	実績に対する評価 こども医療センターの医療従事者宿舎の整備に向け、新築工事及び改修工事を計画に従い、着手することができた。	△	△	
			課題 平成24年度中に工事が完成することを踏まえ、小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保を図っていくことが求められる。			

小項目 2 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (3) 地域医療連携の強化

中
期
目
標

- (3) 地域医療連携の強化
地域の医療機関と適切な役割分担に基づく連携を図り、県全体として効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																			
<p>県全体に効率的な医療を提供するため、高度・専門医療を提供する医療機関として紹介・逆紹介を推進するとともに、地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <p>(参考)紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,528件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6,772件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>397件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4,838件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,613件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)逆紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,606件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,450件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,586件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,318件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,586件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>(3) 地域医療連携の強化 各病院において、地域の医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組み、紹介・逆紹介の推進や地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <p>(参考)[紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,772件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,177件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>206件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>5,205件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,502件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)[逆紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,270件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,704件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>298件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>246件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,496件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,489件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度	足柄上病院	4,772件	こども医療センター	7,177件	芹香病院	357件	せりがや病院	206件	がんセンター	5,205件	循環器呼吸器病センター	3,502件	病院名	平成21年度	足柄上病院	4,270件	こども医療センター	3,704件	芹香病院	298件	せりがや病院	246件	がんセンター	1,496件	循環器呼吸器病センター	3,489件	<p>・各病院が、それぞれの地域や病院の特性を踏まえた、地域医療機関等との連携の強化に取り組み、紹介・逆紹介の増加に努めた。</p> <p>・県立病院が有する医療機能を地域医療機関及び県民に対して、より効果的に提供できるよう、平成24年1月に神奈川県立病院地域医療連携連絡会議を新たに設置し、県立病院間の地域医療連携に係る課題抽出と連携方策の検討に着手した。</p> <p>[紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,531件</td> <td>4,580件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,325件</td> <td>7,642件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>335件</td> <td>297件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>260件</td> <td>242件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>5,195件</td> <td>5,139件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,822件</td> <td>3,536件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[逆紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,610件</td> <td>3,703件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>4,061件</td> <td>4,325件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>352件</td> <td>481件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>211件</td> <td>220件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,746件</td> <td>1,518件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,279件</td> <td>3,730件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院] ・足柄上病院は急性期治療を、地域医療機関はリハビリテーション等の回復期治療を担う連携を進め、平成23年度は鶴巻温泉病院など3医療機関と「脳卒中地域連携パス」を21件運用した。 ・足柄上医師会と紹介患者の困難症例等の研究会（足柄上臨床研究会）の定期開催、地域医療機関、福祉施設等への週2回訪問による意見交換を実施し、連携・協力を努めた。 ・高度医療機器の共同利用 C T 169件、MR I 79件、R I 11件 計249件</p>	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	4,531件	4,580件	こども医療センター	7,325件	7,642件	芹香病院	335件	297件	せりがや病院	260件	242件	がんセンター	5,195件	5,139件	循環器呼吸器病センター	3,822件	3,536件	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	3,610件	3,703件	こども医療センター	4,061件	4,325件	芹香病院	352件	481件	せりがや病院	211件	220件	がんセンター	1,746件	1,518件	循環器呼吸器病センター	3,279件	3,730件	<p>実績に対する評価</p> <p>・各病院が、地域医療機関との連携強化に取り組み、患者に適した医療を提供するために紹介・逆紹介を推進した。</p> <p>・地域医療機関及び県民に、県立病院が有する医療機能をより効果的に提供できるよう、県立病院間における地域医療連携に係る課題抽出と連携方策の検討を進めるための体制を整備した。</p>	<p>自己点数</p> <p>A</p>	<p>評価点数</p> <p>A</p>	<p>コメント</p> <p>紹介・逆紹介については、来院患者に対する割合等を目標値とすることについて検討していただきたい。</p>
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	4,528件																																																																																																							
こども医療センター	6,772件																																																																																																							
芹香病院	397件																																																																																																							
せりがや病院	240件																																																																																																							
がんセンター	4,838件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																							
病院名	平成20年度																																																																																																							
足柄上病院	3,606件																																																																																																							
こども医療センター	3,450件																																																																																																							
芹香病院	357件																																																																																																							
せりがや病院	200件																																																																																																							
がんセンター	1,586件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																							
病院名	平成21年度																																																																																																							
足柄上病院	4,772件																																																																																																							
こども医療センター	7,177件																																																																																																							
芹香病院	357件																																																																																																							
せりがや病院	206件																																																																																																							
がんセンター	5,205件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,502件																																																																																																							
病院名	平成21年度																																																																																																							
足柄上病院	4,270件																																																																																																							
こども医療センター	3,704件																																																																																																							
芹香病院	298件																																																																																																							
せりがや病院	246件																																																																																																							
がんセンター	1,496件																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	3,489件																																																																																																							
病院名	平成22年度	平成23年度																																																																																																						
足柄上病院	4,531件	4,580件																																																																																																						
こども医療センター	7,325件	7,642件																																																																																																						
芹香病院	335件	297件																																																																																																						
せりがや病院	260件	242件																																																																																																						
がんセンター	5,195件	5,139件																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	3,822件	3,536件																																																																																																						
病院名	平成22年度	平成23年度																																																																																																						
足柄上病院	3,610件	3,703件																																																																																																						
こども医療センター	4,061件	4,325件																																																																																																						
芹香病院	352件	481件																																																																																																						
せりがや病院	211件	220件																																																																																																						
がんセンター	1,746件	1,518件																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	3,279件	3,730件																																																																																																						

		<p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携の登録医療機関数は、毎年度増加し、平成23年度末に207機関となった。これにより、紹介・逆紹介件数も増加傾向にある。 ・地域医療支援事業運営委員会（年2回） ・医療従事者への研修（年40回） ・訪問看護ステーション向け医療ケア実技研修会（年1回） ・訪問看護ステーション訪問（年2回） ・在宅支援目的の病院訪問（年4回） ・地域医療連携室だよりの発行（年3回） <p>[精神医療センター]</p> <p>< 芹香病院 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療システムの構成団体（県、横浜市、川崎市、県精神保健福祉センター）と連携し、精神科救急の受入を推進する。 ・かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を主宰し、県内の医療観察法の指定医療機関、保護観察所、社会福祉施設等との連携を図る。 ・退院促進や地域生活支援のため、地域の保健所や社会福祉施設等とケア会議を実施した。 <p>< せりがや病院 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所等の行政機関との連携協議の実施 ・薬物乱用防止教室など学生を対象とした普及啓発 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5大がん（胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん）の共通地域連携バス及び手順書を策定し、医療機関（平成23年度末475施設）との連携体制を整備 ・地域医療機関の機能の状況（専門領域、検査可能領域、化学療法実施の可否、診療可能な病期等）を把握し、検査・治療の計画を立て、常時以外の対処法を含めて役割分担を整える。 ・高度医療機器の共同利用 PET-CT 2件 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器・呼吸器の専門病院として有する知見・資源・経験を活用し、地域の医療従事者との相互研さんや情報の共有化を図るとともに、地域医療水準の向上に貢献する。 ・金沢区内結核等感染症に関する医療機関等連絡会 ・症例検討会 ・レントゲン撮影の出張メンテナンスの実施 ・高度医療機器の共同利用（依頼検査の実施） CT 520件、MRI 232件、RI 12件 計764件 	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの患者に県立病院での治療を実施するとともに、現在、各病院が設置している様々な地域との連絡会議を通じて、引き続き地域の医療機関等との連携・強化を図る必要がある。 ・地域医療機関が県立病院に期待する医療ニーズを調査、分析し、県立病院としての役割を把握し、その実行方策を検討する必要がある。 		
--	--	--	---	--	--

小項目 27 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
<p>ア 臨床研究 (7) がんセンター</p> <p>・臨床研究所を有するがんセンターについては、研究部門（臨床研究所）と病院部門が連携し、がん医療の分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。</p> <p>・神奈川県がん登録事業を継続実施し、協力病院の院内がん登録の整備を進め、登録情報の精度の充実を図る。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成20年度）31,714件</p> <p>・神奈川がん臨床研究・情報機構の運営を通じて、大学等の研究機関及び企業との共同研究等に取り組み、県内の医療水準の向上を図る。</p>	<p>ア 臨床研究 (7) がんセンター</p> <p>・がん医療の分野における疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。</p> <p>・病院内の対がん活動の状況を把握し、がんの早期発見と治療、予後の向上に役立てることにより、地域レベル、国レベルのがん対策や全国登録などの共同研究への参加を容易にして、研究・研修にも役立てるため、協力病院の院内がん登録の整備を進める。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成21年度）47,835件</p> <p>・神奈川がん臨床研究・情報機構^{※1}における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。</p> <p>[神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>569件</td> <td>540件</td> </tr> </tbody> </table>	平成21年度実績	平成23年度目標値	569件	540件	<p>・昭和61年設立の臨床研究所4部門が連携し、がんの基礎医学的研究から、その成果ががん診断や治療に直結するトランスレーショナルリサーチ、がんの疫学まで幅広い研究を行った。がんセンターの臨床医はもちろん、他の大学、研究所、企業との共同研究も進め、研究成果は研究論文としてまとめた。</p> <p>[平成23年度論文実績] 181件(邦文 57件、英文 124件) うち臨床研究所 45件(邦文 4件、英文 41件) [平成23年度共同研究実績]（臨床研究所） 14件（がんセンター 内10件、院外 4件）</p> <p>・神奈川県のがんの罹患数及び罹患率を調査するため、神奈川県悪性新生物登録事業として、県内医療機関の理解と協力を得て地域がん登録を進めた。</p> <p>[神奈川県がん登録事業の登録件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57,762件</td> <td>70,893件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・産学公の連携により、がんの臨床研究を促進し、適切ながん情報を患者さんに提供する神奈川がん臨床研究・情報機構において貴重な研究試料としての腫瘍組織の収集を行った。</p> <p>[腫瘍組織収集の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>506件</td> <td>648件</td> </tr> </tbody> </table>	平成22年度	平成23年度	57,762件	70,893件	平成22年度	平成23年度	506件	648件	<p>実績に対する評価</p> <p>研究論文発表や他機関との共同研究、地域がん登録を進めるとともに、治療効果を上げ、生存率を改善する目的で術前化学療法等が導入されたことにより、抗がん剤の影響を受けていない有効な研究試料数が減少する中、これまで以上に取扱いに留意し、貴重な試料の収集に努めるなど、臨床研究を推進した。</p> <p>研究期間が3年から5年と続くものもあり、年ごとに成果が上がるような大きな変化があるものではない。</p> <p>有効な研究成果が上がったものは、学会発表や論文により発表している。</p> <p>課題</p> <p>数多くの研究を実施していくためには、研究者を補佐する研究生、研究員を確保する必要がある。</p> <p>治療効果を上げ、生存率を改善する目的で術前化学療法等が導入され、有効な研究試料数が減少する傾向にある中で、貴重な試料の収集の確保を図る必要がある。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	<p>今後、よりきめ細かい計画の策定など年度計画の立て方に工夫が求められる。</p>
平成21年度実績	平成23年度目標値																	
569件	540件																	
平成22年度	平成23年度																	
57,762件	70,893件																	
平成22年度	平成23年度																	
506件	648件																	

小項目 28 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
(イ) その他の病院における臨床研究の推進 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。	(イ) その他の病院における臨床研究の推進 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。	各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。 [足柄上病院] 「未成年者に発症した上行結腸印環細胞癌の1例」等の論文や「SURGICAL TREATMENT FOR ELDERLY PATIENTS WITH GASTRIC CANCER」等の学会や国際学会で発表を行った。 [こども医療センター] ・「ヤング・シンプソン症候群の診断基準の作成と実態把握に関する研究」等、厚生労働省科学研究事業及び文部科学省戦略的国際科学技術推進事業「新しい無線システムの使用形態で生じる電波への妊娠女性・胎児の曝露評価モデルの開発」の主任（代表）研究者や共同研究者として、診断及び治療技術の研究・開発で実績を上げた。 ・「家族性精神遅滞症候群の分子遺伝学的診断とスクリーニング法の開発」等かながわ県立病院小児医療基金研究事業の研究者として研究を行い、小児疾患の診断・治療の向上に実績をあげた。 ・臨床研究の充実などを目的とした横浜市立大学との連携大学院にかかる協定を締結した。 [精神医療センター] ・ニューロモデュレーション研究、依存症研究、東洋医学研究等の臨床研究の充実を努めた。 ・「K式鍼灸スコア（K S A S）の信頼性検定と相関分析～うつ病など精神疾患に対する鍼灸治療の試み～」等、論文や学会発表を行った。 [循環器呼吸器病センター] 医療の質の向上を図るため、院内に臨床研究室を設置し、臨床研究の促進に取り組んだ。	実績に対する評価 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。	△	△	
			課題 引き続き、医療水準の向上に寄与するため、臨床研究の取組を行っていく必要がある。			

小項目 29 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
イ 治験 (7) こども医療センター 厚生労働省から指定された治験拠点医療機関として、他の医療機関と連携して、小児医療の治験に積極的に取り組む。	イ 治験 (7) こども医療センター ・小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組む。 ・従来の臨床研究室を臨床研究所に改め、研究体制を強化することにより、治験を含む受託研究の拡大・推進を図る。	・小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組んでいる。 ・小児医療を向上させるための治験の推進を目的に、国内27施設が登録する小児治験ネットワークに参画し、登録施設間の情報共有、TV会議システムを利用した情報交換（独立行政法人国立成育医療センター他3機関）を行うこと等により、小児治験の質の向上と効率化に尽力した。 ・厚生労働省により実施されている治験拠点病院活性化事業の拠点医療機関として、小児・周産期に係る広範囲領域の疾患や稀少難治性疾患の治験を実施した。 ・契約課題数、症例数とも平成22年度と比較して増加したほか、米欧8箇国との国際共同治験が治験審査委員会で承認され、実施している。 ・従来の臨床研究室を5部門に再編し、臨床研究所に改め、研究体制の強化を図った。	実績に対する評価 小児治験ネットワーク登録施設、また、治験拠点病院活性化事業の拠点医療機関として、治験事業の推進に係る全国的な連携において、役割を担っている。 また、従来の臨床研究室を臨床研究所に改め、研究体制の強化を図った。 その結果、治験実施実績においても、平成22年度と比較して契約課題数、症例数ともに増加をしており、小児領域の治験において、十分な実績を挙げている。	△	△	
			課題 小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験契約件数の増加に向けて、治験管理室を中心とした治験実施体制の強化が必要である。			

[治験契約課題数及び症例数]

	平成22年度	平成23年度
治験契約課題数	15件	17件
治験契約症例数	41件	42件

小項目 30 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																								
<p>(イ) その他の病院における治験の推進</p> <p>新薬の開発等に貢献し、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。</p> <p>(参考) 治験実施状況 (平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>8件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>13件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>28件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>22件</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	8件	14件	こども医療センター	13件	60件	芹香病院	1件	0件	がんセンター	28件	47件	循環器呼吸器病センター	22件	38件	<p>(イ) その他の病院における治験の推進</p> <p>各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。</p> <p>(参考) 治験実施状況 (平成21年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>9件</td> <td>56件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>32件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>26件</td> <td>42件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	30件	こども医療センター	9件	56件	芹香病院	2件	0件	がんセンター	32件	49件	循環器呼吸器病センター	26件	42件	<p>各病院の特性及び機能を生かした治験を推進し、治験受託件数の増加に努めた。</p> <p>[治験実施状況 (平成22年度実績)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>15件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>9件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>37件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>28件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[治験実施状況 (平成23年度実績)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>17件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>8件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>43件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>30件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[精神医療センター] 統合失調症患者及びうつ患者を対象とした投与試験を実施した。 [がんセンター] 治験管理室において、がんセンターの基本理念、ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び医薬品の臨床試験の実施の基準(GCP)等に基づき、治験担当医師、治験依頼者、院内各部門との連携を図り、円滑で質の高い医薬品等の治験及び臨床研究を推進した。 平成22年度対比で治験受託件数が6件増加した。 [循環器呼吸器病センター] ・循環器、呼吸器に特化しているメリットを生かして、円滑で質の高い医薬品開発治験実施の推進に努めたことにより、治験依頼者からの信頼を得ることができ、前年比2件増の30件の実績となった。</p>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	44件	こども医療センター	15件	64件	芹香病院	9件	0件	がんセンター	37件	46件	循環器呼吸器病センター	28件	46件	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	42件	こども医療センター	17件	63件	芹香病院	8件	0件	がんセンター	43件	50件	循環器呼吸器病センター	30件	40件	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院が治験契約件数の増加に向けて積極的に取り組み、治療の効果及び安全性を高める医療の質の向上に寄与することができた。</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">△</p>		
	病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																										
足柄上病院	8件	14件																																																																											
こども医療センター	13件	60件																																																																											
芹香病院	1件	0件																																																																											
がんセンター	28件	47件																																																																											
循環器呼吸器病センター	22件	38件																																																																											
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																											
足柄上病院	12件	30件																																																																											
こども医療センター	9件	56件																																																																											
芹香病院	2件	0件																																																																											
がんセンター	32件	49件																																																																											
循環器呼吸器病センター	26件	42件																																																																											
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																											
足柄上病院	12件	44件																																																																											
こども医療センター	15件	64件																																																																											
芹香病院	9件	0件																																																																											
がんセンター	37件	46件																																																																											
循環器呼吸器病センター	28件	46件																																																																											
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																											
足柄上病院	12件	42件																																																																											
こども医療センター	17件	63件																																																																											
芹香病院	8件	0件																																																																											
がんセンター	43件	50件																																																																											
循環器呼吸器病センター	30件	40件																																																																											
			<p>課題</p> <p>引き続き、各病院の特性及び機能を生かして新薬等の開発等の治験を推進する。</p>																																																																										

小項目 3 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

中期目標

- 2 安全で安心な医療の提供
- 患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、看護体制を整備するとともに、医療安全対策や感染症対策、災害対策等を推進すること。
- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備
- 県立病院が担う安全で安心な医療を支えるため、医療体制を整備するとともに、各病院の基本的な機能を踏まえた手厚い看護の実施に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>看護体制の整備、医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・安全で安心な医療を支えるため、こども医療センターにおいて感染制御室を設置する等、医療体制を整備するとともに、医療機器の整備を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p>	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・こども医療センターにおいて専任の褥瘡管理者を配置し、褥瘡発生防止体制の整備及び症例検討を通じた褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組むなど、各県立病院の特性及び機能を生かした褥瘡防止に関する取組を推進する。</p> <p>・がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制取得に向けて、採用試験実施回数や拡大や県外試験の実施等により、看護師確保を図る。</p>	<p>【褥瘡防止に関する取組の推進】</p> <p>・全病院が褥瘡患者の治療と褥瘡防止対策の実施とその評価を行う体制があり、診療報酬の施設基準「褥瘡患者管理加算」を取得している。</p> <p>・各県立病院の褥瘡発生防止の取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・皮膚・排泄ケア認定の資格を取得した看護師を配置した。月1回褥瘡リンクナース会議を開催し、褥瘡リスクの保有、発生状況の分析等を行い、早期治癒に向けた検討に取り組んだ。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・専任の褥瘡管理者を配置し、褥瘡診療部会及び診療ケア部会をそれぞれ月1回開催した。</p> <p>・褥瘡の重点対策を「手術体位対策」「非侵襲的陽圧マスク対策」「点滴シーネ対策」として、医師、看護師その他医療従事者が連携した褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組んだ。また、褥瘡発生予防具の評価を行い、体圧分散マットレスを整備し、褥瘡防止の取組を推進した。</p> <p>・なお、診療報酬上も「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」を算定している。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>褥瘡対策会議を毎月開催し、褥瘡の発生防止やケアについて知識の向上に努めた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・医師、看護師その他医療従事者が協働で褥瘡の発生予防・管理に取り組み、安全で安心な医療を支えるための体制を整備している。</p> <p>・7対1看護体制取得に向けて、看護師の確保に向けた様々な取組を実施した。</p>	△	△	褥瘡防止について、院内での研修会等だけでなく、院外の地域の老健施設や一般病院に対しても、県立病院の先進的な取組を情報発信することについて検討していただきたい。

[がんセンター]

褥瘡管理者（専従の看護師）を配置する等「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」を取得し、褥瘡の予防ケアに取り組んでいる。

[循環器呼吸器病センター]

毎月褥瘡ラウンドを実施して患者に対するケアを確認するほか、定期的に学習会を開催して、スタッフの技術の向上を図り、褥瘡ケアの質を高める取組を推進した。

[褥瘡患者発生率（平成23年度実績）]

病院名	分子	分母	測定値
	新規褥瘡発生患者数（新規褥瘡発生件数）	入院患者数	褥瘡発生率
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%
芹香病院	6件	2,401人	0.20%
せりがや病院	1件	359人	0.28%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%

【7対1看護体制の取得に向けての取組】

7対1看護体制取得に向けて、看護師養成学校との連携に加え、潜在看護師や既卒看護師の復帰支援として、病院見学や病棟体験等の研修会を行うなど、人材の確保に向けた様々な取組を実施した。

課題

全国的な看護師不足の中、安全で安心な医療を支える手厚い看護（7対1看護基準の取得）を実施するため、看護師確保の取組を進める必要がある。

小項目 3 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 2 安全で安心な医療の提供
 (2) 医療安全対策の推進

中期計画

医療事故を未然に防止し、患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																																		
<p>医療事故対応マニュアルの充実、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>(2) 医療安全対策の推進 医療事故対応マニュアルの整備、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数 (平成21年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>発生件数</th> <th>区分集計</th> <th>総発生件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">インシデント</td> <td>0</td> <td>914件</td> <td rowspan="3">5,764件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4,850件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>584件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アクシデント</td> <td>3</td> <td>70件</td> <td rowspan="3">654件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	発生件数	区分集計	総発生件数	インシデント	0	914件	5,764件	1	4,850件	2	584件	アクシデント	3	70件	654件	4	0件	5	0件	<p>・医療の透明性を高め県民との信頼関係を築くとともにさらなる医療事故の未然防止を図るため平成23年12月に「神奈川県立病院ヒヤリ・ハット事例及び医療事故に関する公表基準」を改正した。</p> <p><公表基準改正の概要> 医療事故が原因となって患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた場合は、過失の有無を問わず、すべて個別公表することとした。 医療事故が原因となって患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた場合や、患者が死亡した場合は、家族等の同意がない場合でも個人が特定されないよう十分配慮しながら個別公表することとした。</p> <p>・改正後の公表基準により平成24年5月30日に平成23年度のヒヤリ・ハット事例及び医療事故等の公表を行った。 総数が前年比増加したが、患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた場合や、患者が死亡した場合の重大事故は0件であった。</p> <p>【ヒヤリ・ハット事例及び医療事故レベル別件数前年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>レベル</th> <th>平成22年度</th> <th></th> <th>レベル</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">インシデント</td> <td>0</td> <td>894件</td> <td rowspan="3">ヒヤリ・ハット事例</td> <td>0</td> <td>1,150件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5,077件</td> <td>1</td> <td>5,611件</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">アクシデント</td> <td>2</td> <td>655件</td> <td>2</td> <td>810件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>72件</td> <td>3a</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> <td>3b</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1件</td> <td>4</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>		レベル	平成22年度		レベル	平成23年度	インシデント	0	894件	ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1	5,077件	1	5,611件	アクシデント	2	655件	2	810件	3	72件	3a	100件	4	0件	3b	22件	5	1件	4	0件			5	0件	<p>実績に対する評価</p> <p>・公表基準の改正により重大事故について事故後速やかに個別公表することとし、医療の透明性を高め、医療事故のさらなる未然防止が図られた。</p> <p>・研修実施等総合的な医療安全対策の推進により重大事故の防止や、ヒヤリ・ハット事例の報告等、医療安全に対する意識の向上が図られた。</p> <p>・医療安全推進室を組織規程上の組織として定めることにより医療安全推進体制の強化を図った。 また、医療メディエーター養成研修等の実施に向けた取組を推進した。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	
区分	平成20年度																																																																						
インシデント	6,574件																																																																						
アクシデント	773件																																																																						
計	7,347件																																																																						
区分	発生件数	区分集計	総発生件数																																																																				
インシデント	0	914件	5,764件																																																																				
	1	4,850件																																																																					
	2	584件																																																																					
アクシデント	3	70件	654件																																																																				
	4	0件																																																																					
	5	0件																																																																					
	レベル	平成22年度		レベル	平成23年度																																																																		
インシデント	0	894件	ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件																																																																		
	1	5,077件		1	5,611件																																																																		
アクシデント	2	655件		2	810件																																																																		
	3	72件	3a	100件																																																																			
	4	0件	3b	22件																																																																			
	5	1件	4	0件																																																																			
			5	0件																																																																			

課題

・事故発生時の対応を的確に行うため、「医療事故対応マニュアル」を平成23年12月に改正したほか、医療安全対策のより一層の強化を図るため、「医療安全会議」や「医療安全に関する研修」等再発防止のための取組を実施した。

[安全管理に係る会議及び研修の開催状況]

病 院 名	医療安全会議	リスクマネージャ－会議	医療安全に関する研修	
	回数	回数	回数	参加者数
足柄上病院	12回	12回	82回	2,318人
こども医療センター	12回	6回	15回	2,113人
精神医療センター荻番病院	12回	12回	21回	1,003人
精神医療センターせりがや病院	12回	11回	11回	257人
がんセンター	12回	12回	20回	1,707人
循環器呼吸器病センター	13回	11回	13回	844人
合 計	73回	64回	162回	8,242人

・安全で安心な医療の提供の充実を図るため「医療安全推進室」を平成24年度から組織規程上の組織に位置付けるとともに、医療メディエーター（医療対話促進者）養成に向けての検討に着手した。

・医療事故を未然防止するため、医療安全推進会議で事例・発生原因を分析するなど、県立病院全体として、再発防止策等医療安全対策に取り組む必要がある。

・事故防止だけでなく、患者と医療従事者の対話を促進し、医療に関する苦情等に円滑に対応できるよう、医療メディエーターの養成に向けた取組を実施する必要がある。

小項目 3 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (3) 感染症対策の強化

中期目標

院内感染防止対策を強化するとともに、感染管理体制を充実することにより、感染症に関する取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント														
<p>・院内感染防止対策を強化するため、感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直しに取り組む。</p> <p>・新型インフルエンザ等の診療・治療を行うため、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。</p>	<p>(3) 感染症対策の強化</p> <p>・感染防止会議の開催による対策の徹底や、新興感染症^{※18}対策、新型インフルエンザの発生、多剤耐性菌^{※19}に対する対策等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直し等、院内感染防止対策を強化する取組を推進する。</p> <p>・新型インフルエンザ等の患者受入れに当たって、こども医療センターでは小児に特有な診療・治療を行う等、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。</p>	<p>・院内感染を防止するため、感染防止会議や研修会の開催、さらには新型インフルエンザに対応するためマニュアル等の見直しを行った。</p> <p>[院内感染防止会議の開催実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各病院が実施した院内感染防止対策の主な取組は、次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] 「感染症対策便り」を定期的に発行するとともに、状況に応じて号外を発行し、職員への啓蒙を図った。「感染症対策便り」（定期9回、号外3回発行）</p> <p>[こども医療センター] ・感染制御室を中心に、院内感染防止対策に取り組んだ。（詳細は小項目8参照）</p> <p>・患者受入時や面会時の健康確認を徹底し、インフルエンザを含むウイルス性感染症の外部からの持込を防ぐ取組を行った。</p>	病院名	平成23年度	足柄上病院	12回	こども医療センター	11回	芹香病院	12回	せりがや病院	12回	がんセンター	12回	循環器呼吸器病センター	12回	<p>感染防止会議の定期的開催やマニュアルの改訂、講演会の開催など、院内感染防止対策強化のための取組を推進した。</p>	△	△	
病院名	平成23年度																			
足柄上病院	12回																			
こども医療センター	11回																			
芹香病院	12回																			
せりがや病院	12回																			
がんセンター	12回																			
循環器呼吸器病センター	12回																			

[精神医療センター]

感染防止技術の向上を図るため、新たに「感染対策チェックリスト」を作成し、一人ひとりが感染防止対策を容易にチェックできるようにした。

[がんセンター]

・感染対策講習会を複数回開催し、年2回以上の参加を義務付けた。受講できない職員へはレポート研修を行い、職員の感染対策に関する教育体制の充実を図った。

・耐性菌対策として、ICTの院内ラウンドで、環境整備や感染対策実施状況の確認を行うとともに、抗菌剤の使用状況についての把握と指導を行った。このほかに、ICTニュース、メール等で職員への情報提供をし、意識醸成を図った。

[循環器呼吸器病センター]

・感染防止の実効性を高めるため、手指消毒剤を見直し、携帯用ポシエットを全セクションに配布したほか、自動センサー式手指消毒を導入した。

・耐性菌の発生、増加、感染拡大防止を図るため、耐性菌ラウンドの回数を増やし、抗MRSA薬の薬物血中濃度をモニタリングし、抗菌薬適正使用の推進を図った。

・流行性伝染病に備えた感染予防体制を構築するため、横浜市大付属病院、金沢区保健福祉センターと共同で事務局となり、金沢区内6病院のネットワークを立ち上げた。

課題

・今後とも、新型感染症の発生が予測されることから、感染防止会議の開催や手指消毒習慣化の徹底など、職員の意識啓発を図るための研修会等を開催し、感染症の防止に努めていく必要がある。

・院内感染防止対策の強化を図るため、他の医療機関と連携した感染防止対策に関するカンファレンスの開催等に取り組む必要がある。

小項目 3 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (4) 災害対策の推進

中期目標

災害発生等における災害医療拠点病院及び地域における災害時医療を担う病院としての役割を果たすこと。
また、災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
<p>・災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。また、大規模災害発生時に病院機能を確保、維持するため、建物の耐震化整備に努める。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時には、神奈川県地域防災計画の個別計画である神奈川県医療救護計画に基づき、県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。特に、災害医療拠点病院である足柄上病院は、災害時の患者の受入れ等、県西地域医療圏における災害医療救護の中心的役割を担う。</p>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・各病院で、医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,232人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・東北地方太平洋沖地震の発生及びそれに伴う計画停電の実施を踏まえ、災害発生時等に病院機能を確保、維持するための自家用発電装置、水供給施設、交通施設等のライフラインの再点検を行う。</p> <p>・思春期医療など新たな精神科医療へ対応するとともに、施設の老朽化が進み耐震化が求められている精神医療センターの医療環境の改善を図るため、新棟建設の基本・実施設計を行う。</p> <p>・災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班の編成、被災地等への派遣を実施する。</p> <p>・足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時に患者の受入れ等を行う。</p>	区分	平成21年度	防災訓練実施回数	13回	防災訓練参加者数	2,232人	<p>・東日本大震災の発生を踏まえ、災害発生時に病院機能を確保、維持するための医薬品・災害用医療資材等の備蓄するとともに、自家用発電装置の更新等を行った。</p> <p>[防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>12回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,316人</td> <td>1,649人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・東日本大震災の発生直後から、被災地（岩手県）に医師、看護師等を派遣し、現地での医療支援活動を実施した。</p> <p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のケアチーム（大槌町）に医師、看護師を派遣 ・岩手県立大船渡病院へ医師、看護師等の医療チーム（7班編成）を派遣し、医療支援を実施 <p>・精神医療センターが4月当初の計画停電対象となったが、診察時間等の工夫、非常用発電機の燃料確保等、停電時にも病院機能を維持し、患者への影響を最小限にすることに努めた。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・災害拠点病院として、神奈川県西部で大規模地震が発生したことを想定した神奈川県・松田町合同防災訓練（平成23年11月27日）に参加し、神奈川県DMA Tと連携し、被災者のトリアージ・広域搬送の訓練を実施するなど、災害時の救急医療体制の充実強化を図った。</p>	区分	平成22年度	平成23年度	防災訓練実施回数	12回	14回	防災訓練参加者数	2,316人	1,649人	<p>実績に対する評価</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	<p>・東日本大震災の被災地に医師、看護師等医療救護活動のため派遣するなど県立病院としての役割を果たした。</p> <p>・災害発生等に備えて、病院機能を確保、維持することができるよう、各病院の施設、設備等の整備を図った。</p>
区分	平成20年度																										
防災訓練実施回数	14回																										
防災訓練参加者数	2,630人																										
区分	平成21年度																										
防災訓練実施回数	13回																										
防災訓練参加者数	2,232人																										
区分	平成22年度	平成23年度																									
防災訓練実施回数	12回	14回																									
防災訓練参加者数	2,316人	1,649人																									

[こども医療センター]

・東日本大震災を踏まえた災害防災マニュアルの見直しを行った。また、夜間想定防災訓練等、対象や目的を明確にした防災訓練を実施した。

・災害発生時等に病院機能を確保維持するため、ライフラインの再点検を行い、自家用発電装置の更新工事に着手し、また、災害時優先発信携帯電話を整備した。

[精神医療センター]

・災害対策強化のため、管理診療棟の耐震化工事を行うとともに非常用発電機の分解点検修理を実施した。

・精神医療センターの新棟（施設）は、地震に強い免震構造を採用する基本・実施設計を行った。

[がんセンター]

・東日本大震災の教訓を踏まえ、従来のパターン化した避難訓練から、訓練参加者に災害想定状況を事前に説明しない方法（状況付与型演習）を取り入れた訓練を3回実施した。

・無停電電源装置の更新及び新設を行った。また、計画停電を想定し、停電状態の中で、非常用発電装置を運転しその供給能力の検証等を行った。

[循環器呼吸器病センター]

・出火の際の消火活動、情報伝達、避難誘導等の総合的な防災訓練（第1回）と夜間時の災害を想定した訓練（第2回）を行った。

・停電時に、検査分析業務に影響が生じないよう、無停電電源装置を備えた。

課題

・引き続き、病院機能を確保、維持するための防災対策を実施する。また、各病院が災害救護医療の中心的な役割を担えるよう努めていく必要がある。

・災害医療拠点病院として、足柄上病院にDMATを設置する必要がある。

小項目 3 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (5) 情報セキュリティの強化

中期目標

個人情報の保護を徹底するため、情報システムにおけるセキュリティ対策を強化すること。
また、職員に対して情報セキュリティの必要性を周知徹底する等、個人レベルでの情報セキュリティのために必要な取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																		
<p>・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ネットワーク、電子メールサーバー等の情報基盤の整備に併せて、ウイルスチェック、不正アクセス対策を講じる等、セキュリティの向上を図る。</p> <p>・職員からの個人情報漏えいを防ぐため、情報セキュリティ研修の実施等、個人レベルでの情報セキュリティの意識を啓発する取組を進める。</p>	<p>(5) 情報セキュリティの強化 情報セキュリティポリシーに対する理解を深めるとともに、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を周知するため、職員を対象に情報セキュリティ研修を実施する。</p>	<p>・全所属で情報セキュリティ研修を実施した。また、新規採用職員・転入職員向け研修の受講科目として、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を説明した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月11日</td> <td>新採用職員・転入職員向け</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>6月14日</td> <td>がんセンター（第1回）</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>6月22日</td> <td>がんセンター（第2回・第3回）</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>7月28日</td> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>10月26日</td> <td>足柄上病院</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>11月7日</td> <td>精神医療センター</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>12月12日</td> <td>本部事務局</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>1月17日</td> <td>こども医療センター（第1回）</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>1月23日</td> <td>こども医療センター（第2回）</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>908人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地震、火災等の災害によるデータ損失を防止するため、人事給与システム、財務会計システム等のバックアップデータを遠隔地に保管する体制を整えた。</p>	実施日	対象	参加者数	4月11日	新採用職員・転入職員向け	273人	6月14日	がんセンター（第1回）	117人	6月22日	がんセンター（第2回・第3回）	180人	7月28日	循環器呼吸器病センター	68人	10月26日	足柄上病院	65人	11月7日	精神医療センター	51人	12月12日	本部事務局	19人	1月17日	こども医療センター（第1回）	72人	1月23日	こども医療センター（第2回）	63人		計	908人	<p>実績に対する評価</p> <p>・4月新規採用職員・転入職員のほぼ全員が研修を受講した。これにより、昨年度の取り組みである啓発用冊子配付とあわせて、より一層、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を周知できた。</p> <p>・地震や火災などに備えて、人事給与システム、財務会計システムなどのデータ保全を検討した結果、データのバックアップを遠隔地に保管するなどの対策を平成24年4月から講じることができた。</p>	△	△	
			実施日	対象	参加者数																																		
4月11日	新採用職員・転入職員向け	273人																																					
6月14日	がんセンター（第1回）	117人																																					
6月22日	がんセンター（第2回・第3回）	180人																																					
7月28日	循環器呼吸器病センター	68人																																					
10月26日	足柄上病院	65人																																					
11月7日	精神医療センター	51人																																					
12月12日	本部事務局	19人																																					
1月17日	こども医療センター（第1回）	72人																																					
1月23日	こども医療センター（第2回）	63人																																					
	計	908人																																					
			<p>課題</p> <p>平成24年度に病院機構独自のネットワークを整備するにあたり、インターネット上のセキュリティの脅威等に対する対策を講じる必要がある。</p>																																				

小項目 3 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
 また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。
 (1)患者にとって分かりやすい医療の提供
 患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。
 また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
 さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																												
<p>3 患者の視点に立った病院運営 患者との相互理解を深める取組や病院、医療情報の提供、患者の利便性の向上を図る取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った病院運営を進める。</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供 ・患者、家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進するとともに、クリティカルパスの適用範囲を拡大する。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供 ・診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。 ・各県立病院におけるクリティカルパス^{※9}の適用状況の調査分析を踏まえて、クリティカルパス適用拡大を図る。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>23件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度	足柄上病院	65件	こども医療センター	28件	芹香病院	1件	がんセンター	42件	循環器呼吸器病センター	23件	<p>・各病院において、計画的で分かりやすい医療を提供するため、クリティカルパス等を利用して患者へのインフォームドコンセントの実施に努めた。</p> <p>・クリティカルパス検討会議を開催するなど、新規作成や見直しを行うことで、エビデンスに基づく医療の質を確保する取組を実施した。</p> <p>[クリティカルパスの件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>66件</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>28件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>50件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	66件	70件	こども医療センター	28件	29件	芹香病院	3件	3件	せりがや病院	2件	3件	がんセンター	50件	32件	循環器呼吸器病センター	18件	20件	<p>実績に対する評価</p> <p>△</p> <p>・クリティカルパスを利用し、患者が受ける治療、検査の具体的内容やその経時的流れを可視化する説明を行い、患者、家族等へのインフォームドコンセントを推進した。</p> <p>・がんセンターにおいては、電子カルテシステムの導入に伴い、クリティカルパスの電子化を進めた。</p>	<p>△</p> <p>クリティカルパスの適用について指標化を検討のうえ、件数実績だけではなく、適用範囲の状況（適用率など）についても示していただきたい。</p>
病院名	平成20年度																																																
足柄上病院	48件																																																
こども医療センター	22件																																																
芹香病院	1件																																																
がんセンター	23件																																																
循環器呼吸器病センター	18件																																																
病院名	平成21年度																																																
足柄上病院	65件																																																
こども医療センター	28件																																																
芹香病院	1件																																																
がんセンター	42件																																																
循環器呼吸器病センター	23件																																																
病院名	平成22年度	平成23年度																																															
足柄上病院	66件	70件																																															
こども医療センター	28件	29件																																															
芹香病院	3件	3件																																															
せりがや病院	2件	3件																																															
がんセンター	50件	32件																																															
循環器呼吸器病センター	18件	20件																																															

[足柄上病院]
・検討会議を毎月開催し、平成23年度に「糖尿病3泊教育入院」など、新規クリティカルパスを4件作成し、年度末に70件となった。

[こども医療センター]
平成23年度に「心臓カテーテル治療のクリティカルパス」を作成し、29件のクリティカルパスを運用した。

[精神医療センター 芹香病院]
平成23年度の新規作成パスはないが、「抑うつパス」など3件のクリティカルパスを運用した。

[精神医療センター せりがや病院]
平成23年度に「アルコール依存症入院クリティカルパス」を新たに作成し、年度末に3件となった。

[がんセンター]
・平成24年1月からの電子カルテ導入に伴い、クリティカルパスの電子化を順次進めた。
平成23年度末時点 32件中21件(65.6%)

当初50件+新規10件+見直増5-廃止33件=32件

[循環器呼吸器病センター]
・会議を2回開催し、新たに2件（経皮的血管形成術(P T A)、血管再生医療)のクリティカルパスを作成した。

課題

引き続き患者が安心して治療、検査が受けられるよう、バリエーション（クリティカルパスの内容から外れた処置等）の内容の評価をしながら、クリティカルパスの作成、見直し等を行い、その適用拡大を図っていく必要がある。

小項目 3 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
 また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。
 (1)患者にとって分かりやすい医療の提供
 患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。
 また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
 さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																				
<p>・患者、家族が安心して医療を受けられるよう、地域医療連携室等で医療、福祉についての多様な相談を実施する。また、がんセンターにおいては、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に対するがんの電話相談を充実する。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績(平成20年度) 6,109件</p>	<p>・地域医療連携室等で、経済的問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施する。</p> <p>・がんセンター相談支援室及び神奈川県がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績(平成21年度) 5,394件</p>	<p>・各病院に設置した地域医療連携室等で、患者、家族が安心して医療を受けられるよう、患者、家族が抱える経済的・心理的な問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施した。</p> <p>[相談件数実績(地域医療連携室等への診療相談)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11,473件</td> <td>11,264件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>24,130件</td> <td>21,933件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4,593件</td> <td>4,679件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>270件</td> <td>391件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9,825件</td> <td>9,354件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>8,284件</td> <td>11,416件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[がんセンターにおける相談件数(内訳)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>医療相談支援室</th> <th>がん臨床研究・情報機構</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談延件数</td> <td>7,698件</td> <td>2,127件</td> <td>9,825件</td> </tr> <tr> <td>うち電話</td> <td>4,752件</td> <td>2,127件</td> <td>6,879件</td> </tr> <tr> <td>うちサテライト</td> <td>590件</td> <td></td> <td>590件</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療相談支援室</th> <th>がん臨床研究・情報機構</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談延件数</td> <td>7,291件</td> <td>2,063件</td> <td>9,354件</td> </tr> <tr> <td>うち電話</td> <td>3,597件</td> <td>2,063件</td> <td>5,660件</td> </tr> <tr> <td>うちサテライト</td> <td>395件</td> <td></td> <td>395件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	11,473件	11,264件	こども医療センター	24,130件	21,933件	芹香病院	4,593件	4,679件	せりがや病院	270件	391件	がんセンター	9,825件	9,354件	循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件	平成22年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計	相談延件数	7,698件	2,127件	9,825件	うち電話	4,752件	2,127件	6,879件	うちサテライト	590件		590件	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計	相談延件数	7,291件	2,063件	9,354件	うち電話	3,597件	2,063件	5,660件	うちサテライト	395件		395件	<p>各病院が、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、相談体制の強化を進めるとともに、相談しやすい環境整備に努めた。</p>	△	△	
病院名	平成22年度	平成23年度																																																								
足柄上病院	11,473件	11,264件																																																								
こども医療センター	24,130件	21,933件																																																								
芹香病院	4,593件	4,679件																																																								
せりがや病院	270件	391件																																																								
がんセンター	9,825件	9,354件																																																								
循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件																																																								
平成22年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計																																																							
相談延件数	7,698件	2,127件	9,825件																																																							
うち電話	4,752件	2,127件	6,879件																																																							
うちサテライト	590件		590件																																																							
医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計																																																								
相談延件数	7,291件	2,063件	9,354件																																																							
うち電話	3,597件	2,063件	5,660件																																																							
うちサテライト	395件		395件																																																							

		<p>・各病院における特徴的な取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] 地域医療連携室、患者さん相談室において専門相談員が患者・家族との対面相談を行い、問題解決のための活動を実施した。</p> <p>[こども医療センター] 相談窓口を移設し、プライバシーが保護され、落ち着いて相談できる環境整備を図った。</p> <p>[精神医療センター] 患者からの相談や地域連携を実施するとともに、救急、ストレスケア、医療観察制度への対応を行った。</p> <p>[がんセンター] ・医療相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、看護師あるいはソーシャルワーカーが、がんについてや、経済的問題、家庭環境に係る医療福祉問題等多様で幅広い相談に応じた。 ・隔日でソーシャルワーカーによる個別面談形式の相談（サテライト相談）を平成22年7月から実施し、平成23年度は395件の相談を受けた。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 平成22年度から地域連携室に看護師、事務職の他職種を配置したことにより、医療相談をはじめとする多様な相談に対応できている。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・今後とも患者や家族が安心して医療が受けられるよう、相談体制の強化を進めていく必要がある。</p> <p>・こども医療センター、精神医療センター等、在宅での医療支援が必要な患者に対するケアの充実に向けて、地域医療機関、訪問看護ステーション等の関係機関との連携をより一層強化する必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 3 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1)患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。

また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価	評価委員会の評価																																															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																													
<p>・高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組む。</p> <p>(参考) セカンドオピニオン件数実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオン※²⁰を推進する。</p> <p>(参考) セカンドオピニオン件数実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>744件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>51件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度	足柄上病院	2件	こども医療センター	41件	芹香病院	4件	がんセンター	744件	循環器呼吸器病センター	51件	<p>・各病院において、セカンドオピニオンを推進するため、実施方法をホームページや院内掲示、地域医療機関等への案内資料の送付により、その周知に努めた。</p> <p>・各病院のセカンドオピニオンの実施件数は次のとおりである。</p> <p>[セカンドオピニオン件数実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39件</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>686件</td> <td>668件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>43件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	1件	2件	こども医療センター	39件	33件	芹香病院	2件	3件	せりがや病院	1件	1件	がんセンター	686件	668件	循環器呼吸器病センター	43件	40件	<p>患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内、他医療機関への案内書類の送付等により、セカンドオピニオンを推進した。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">課題</p> <p>引き続き、高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組んでいく必要がある。</p>	△	△	
病院名	平成20年度																																																		
足柄上病院	3件																																																		
こども医療センター	40件																																																		
芹香病院	5件																																																		
がんセンター	789件																																																		
循環器呼吸器病センター	48件																																																		
病院名	平成21年度																																																		
足柄上病院	2件																																																		
こども医療センター	41件																																																		
芹香病院	4件																																																		
がんセンター	744件																																																		
循環器呼吸器病センター	51件																																																		
病院名	平成22年度	平成23年度																																																	
足柄上病院	1件	2件																																																	
こども医療センター	39件	33件																																																	
芹香病院	2件	3件																																																	
せりがや病院	1件	1件																																																	
がんセンター	686件	668件																																																	
循環器呼吸器病センター	43件	40件																																																	

小項目 3 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1)患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																								
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																							
<p>・県民の意見を反映し患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査等を実施する。</p>	<p>・県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施し、その内容を公表する。</p>	<p>・各病院において、病院運営や患者サービスに関する現状把握と改善に活用するため、入院及び外来の患者（家族）を対象に患者満足度調査を実施した。</p> <p>・平成23年度は、「患者満足度調査の共通項目」として、全病院に「総合的な評価項目：全体としてこの病院に満足している」の設問を設定した。</p> <p>・各病院の病院全体の満足度を測る調査項目の結果は、次のとおりである。</p> <p>[平成23年度 満足度 調査結果]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="3">入院</th> <th colspan="3">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>95人</td> <td>128人</td> <td>74. 2%</td> <td>171人</td> <td>301人</td> <td>56. 8%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>129人</td> <td>174人</td> <td>74. 1%</td> <td>887人</td> <td>1,269人</td> <td>69. 9%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>79人</td> <td>125人</td> <td>63. 2%</td> <td>156人</td> <td>301人</td> <td>51. 8%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>31人</td> <td>43人</td> <td>72. 1%</td> <td>131人</td> <td>165人</td> <td>79. 4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>261人</td> <td>295人</td> <td>88. 5%</td> <td>630人</td> <td>765人</td> <td>82. 4%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>183人</td> <td>210人</td> <td>87. 1%</td> <td>365人</td> <td>412人</td> <td>88. 6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p> <p>[足柄上病院] 平成23年9月にコンビニエンスストアを院内に設置し、当該店舗にATMを導入するなど患者の利便性の向上を図った。</p>	病院名	入院			外来			満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度	足柄上病院	95人	128人	74. 2%	171人	301人	56. 8%	こども医療センター	129人	174人	74. 1%	887人	1,269人	69. 9%	芹香病院	79人	125人	63. 2%	156人	301人	51. 8%	せりがや病院	31人	43人	72. 1%	131人	165人	79. 4%	がんセンター	261人	295人	88. 5%	630人	765人	82. 4%	循環器呼吸器病センター	183人	210人	87. 1%	365人	412人	88. 6%	<p>患者満足度調査を実施し、病院に対する患者の評価や病院の課題抽出に努めた。</p> <p>患者ニーズを踏まえ、様々なサービス向上に向けた取組を実施した。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	
病院名	入院			外来																																																									
	満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度																																																							
足柄上病院	95人	128人	74. 2%	171人	301人	56. 8%																																																							
こども医療センター	129人	174人	74. 1%	887人	1,269人	69. 9%																																																							
芹香病院	79人	125人	63. 2%	156人	301人	51. 8%																																																							
せりがや病院	31人	43人	72. 1%	131人	165人	79. 4%																																																							
がんセンター	261人	295人	88. 5%	630人	765人	82. 4%																																																							
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87. 1%	365人	412人	88. 6%																																																							

[こども医療センター]

<患者満足度調査の意見を反映した取組>

- ・ブレイルームのおもちゃの充実、老朽化した椅子の交換など、患者アメニティの向上を図った。
- ・相談窓口を移設し、プライバシーが保護され、落ち着いて相談できる環境整備を図った。
- ・新生児用のおむつ・吸い飲みなど、院内コンビニエンスストアの取扱品目を充実させた。

<患者サービスの向上の取組>

- ・陣痛(Labor)から、分娩(Delivery)、産後の回復(Recovery)まで部屋を移動せずに自宅の寝室のような雰囲気の中で過ごすことができるプライバシーが重視されたLDR室を2室設置し、妊婦がリラックスできる環境を整備した。
- ・重症心身障害児施設の浴室の天井画の作成、屋外テーブルの整備等患者アメニティの向上を図った。

[精神医療センター]

- ・芹香病院内の売店の移設に併せて、売場面積の拡大、取扱品目の増加、プリペイドカード利用など患者の利便性の向上を図った。

・せりがや病院では、入院生活を潤いのあるものにするため、患者アンケートを取り入れた食事メニューの提供、外部作業所等に参加するための弁当の提供など、きめ細かな個人対応食を実施した。

- ・精神医療センターの総合整備を着実に進め、施設及び設備の充実を図る。

[がんセンター]

- ・患者サービス検討会議（病院職員及び委託業者（医療事務、清掃、警備等）で構成）を定期的開催し、満足度調査、投書箱に寄せられた患者意見等を共有化し、患者対応の方法等の改善を行った。
- ・がんセンターの総合整備を着実に進め、施設及び設備の充実を図る。

[循環器呼吸器病センター]

無料送迎バス（最寄り駅（京浜急行能見台駅）前から病院の正面玄関まで）の1日の運行本数を5便増やすとともに、運行時間を延長し、患者、家族その他来院者のサービス向上を図った。

課題

県立病院が有する医療機能をさらに有効活用するとともに、患者の視点に立ったより良い病院の運営改善につながるよう、各病院の患者満足度調査結果及びその改善策の共有化を図り、その対策を各病院に広げる仕組みを整備する必要がある。

小項目 40 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

中期目標

疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療の方法と実績等を、広く県民に、分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																										
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																									
<p>疾患・予防等に関する知識について、公開講座等を通じて、広く県民に普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法と実績やがんセンターにおける都道府県がん診療連携拠点病院としての情報等について、ホームページや広報誌等を通じて、情報発信を行う。</p>	<p>(2) 県民への病院・医療情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開講座等を通じて、広く県民に疾患・予防等に関する知識の普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。 ホームページについては、見やすさとともに、県民が必要とする情報を得やすくするための改善を引き続き行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各病院に蓄積された疾患・予防等に関する知識や 県立病院が行う治療方法と実績等を公開講座を通じて、広く県民に分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行った。 がんセンターは、異業種交流を通じて地域の活性化を目指す「神奈川21世紀の会(毎日新聞社主催)」から、がん医療の中核機関として長年にわたって高度専門医療を進めてきたとして、「第14回神奈川イメージアップ大賞」を受賞した。 神奈川県広報媒体を積極的に活用するとともに、広報誌の発行、ホームページの充実など、病院機構の取組(情報)を積極的に広報(PR)することに努めた。 ホームページは、県民が必要とする医療情報を得やすくするため、より親しみやすく、利用しやすい内容・デザイン、また、病院の魅力を積極的にアピールすることを基本コンセプトに、そのリニューアルを順次進めた。 	<p>実績に対する評価</p>	△	△																																										
<p>[公開講座の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	平成21年度実績	平成23年度目標値	足柄上病院	12回	15回	こども医療センター	10回	10回	芹香病院	3回	4回	せりがや病院	2回	2回	がんセンター	4回	4回	循環器呼吸器病センター	10回	10回	<p>[公開講座の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>9回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>6回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>10回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	12回	13回	こども医療センター	9回	8回	芹香病院	4回	7回	せりがや病院	1回	2回	がんセンター	6回	3回	循環器呼吸器病センター	10回	8回		
病院名	平成21年度実績	平成23年度目標値																																													
足柄上病院	12回	15回																																													
こども医療センター	10回	10回																																													
芹香病院	3回	4回																																													
せりがや病院	2回	2回																																													
がんセンター	4回	4回																																													
循環器呼吸器病センター	10回	10回																																													
病院名	平成22年度	平成23年度																																													
足柄上病院	12回	13回																																													
こども医療センター	9回	8回																																													
芹香病院	4回	7回																																													
せりがや病院	1回	2回																																													
がんセンター	6回	3回																																													
循環器呼吸器病センター	10回	8回																																													

各病院が実施した主な公開講座等は次のとおりである。

[足柄上病院]

- ・公開講座等の開催
「がん検診・治療について」「前立腺の病気について」「糖尿病について」など
- ・広報誌の発行
病院情報誌「かけはし」発行部数2,000部
タウンニュース掲載 医療レポート 年6回

[こども医療センター]

- ・公開講座等の開催
「公開医療講座」「学術集談会」「ハートキッズセミナー」「心肺蘇生講習会」「医療安全フォーラム」「看護の日記念事業一日看護体験」など
- ・広報誌の発行回数
地域連携室だより 年3回 2,200部/回

[精神医療センター]

- ・公開講座等の開催
「うつ病と依存症の医療を知ろう」など
- ・広報誌の発行

【芹香病院】

- センターだより 年1回発行 600部
- リワークプログラム 2,000部
- ストレスケア病棟 2,000部

【せりがや病院】

- せりがや通信 年4回発行 300部

[がんセンター]

- ・公開講座等の開催
「がんを知る」など
- ・広報誌の発行
がんセンターたより 年3回 2,250部

[循環器呼吸器病センター]

- ・公開講座等の開催
医師による疾患・予防等に関する医療情報の提供に加え、看護師等、幅広い職種で講演を実施した。

課題

・引き続き、県民が必要とする疾患・予防等に関する医療情報の内容の把握に努め、その提供方法を検討するとともに、迅速で正確な情報発信に努める必要がある。

・県民に県立病院が身近なものとして感じられるよう、公開講座の開催規模、開催日程、テーマ等について、さらに工夫する必要がある。

小項目 4 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント														
<p>・診療、検査、支払等の待ち時間を短縮するための取組や、在院日数の適正化により待機患者の減少を図る取組を実施し、患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるようにする。</p>	<p>(3) 患者の利便性の向上</p> <p>・各病院において待ち時間の実態調査を実施し、待ち時間の短縮を図るための改善に引き続き取り組む。</p>	<p>各病院において、待ち時間の短縮や、患者の負担感を軽減するための取組を行った。</p> <p>○ 診療待ち時間対策</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・待ち時間実態調査の実施</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・新しい医療情報システムの導入</p> <p>[芹香病院]</p> <p>・診療待ち時間の表示</p> <p>[せりがや病院]</p> <p>・患者の状況に応じた診療予約枠の設定</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・外来患者優先で採血結果を出す運用</p> <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <p>・外来診療トリアージの強化</p> <p>[平成23年度外来診療待ち時間実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>各科平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>60分程度</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>30分程度</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>50分程度</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>40分程度</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>50分程度</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>60分程度</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	各科平均	足柄上病院	60分程度	こども医療センター	30分程度	芹香病院	50分程度	せりがや病院	40分程度	がんセンター	50分程度	循環器呼吸器病センター	60分程度	<p>システムの更新による待ち時間の短縮や、診療待ち時間の明示による患者負担感の軽減等により、サービス水準が向上した。</p>	B	B	<p>予約制度の運用について工夫し、待ち時間の一層の短縮に努めるとともに、その負担感の軽減の対策をより一層進めていただきたい。</p>
			病院名	各科平均																
足柄上病院	60分程度																			
こども医療センター	30分程度																			
芹香病院	50分程度																			
せりがや病院	40分程度																			
がんセンター	50分程度																			
循環器呼吸器病センター	60分程度																			
<p>課題</p> <p>今後も待ち時間調査の実施等により、患者ニーズを把握しながら必要な取組を継続して進めていく必要がある。</p>																				

小項目 4 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
 また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																					
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																				
・休日・時間外における支払窓口の開設やコンビニエンスストアやクレジットカードでの支払等に取り組む。	・支払方法の選択範囲を広げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等を引き続き行う。	クレジットカード、デビットカード、コンビニエンスストア収納の利用状況は以下のとおりとなっている。 [クレジットカード、デビットカード利用状況] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">クレジットカード</th> <th colspan="2">デビットカード</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,886件</td> <td>4,993件</td> <td>18件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>8,926件</td> <td>8,947件</td> <td>118件</td> <td>107件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2,068件</td> <td>1,724件</td> <td>175件</td> <td>96件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>247件</td> <td>447件</td> <td>2件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>25,692件</td> <td>25,773件</td> <td>1,202件</td> <td>1,702件</td> </tr> <tr> <td>循呼センター</td> <td>9,708件</td> <td>9,505件</td> <td>52件</td> <td>234件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51,527件</td> <td>51,389件</td> <td>1,567件</td> <td>2,175件</td> </tr> </tbody> </table> [コンビニ収納利用状況] <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>960件</td> <td>850件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>81件</td> <td>187件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>977件</td> <td>834件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>211件</td> <td>271件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>152件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>循呼センター</td> <td>276件</td> <td>346件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,657件</td> <td>2,537件</td> </tr> </tbody> </table> また、こども医療センターにおいて、新しい医療情報システムを導入したことに伴い、障害児入所施設に係る診療費について、即日会計が可能となった。	病院名	クレジットカード		デビットカード		平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	4,886件	4,993件	18件	28件	こども医療センター	8,926件	8,947件	118件	107件	芹香病院	2,068件	1,724件	175件	96件	せりがや病院	247件	447件	2件	8件	がんセンター	25,692件	25,773件	1,202件	1,702件	循呼センター	9,708件	9,505件	52件	234件	合計	51,527件	51,389件	1,567件	2,175件	病院名	平成22年度	平成23年度	足柄上病院	960件	850件	こども医療センター	81件	187件	芹香病院	977件	834件	せりがや病院	211件	271件	がんセンター	152件	49件	循呼センター	276件	346件	合計	2,657件	2,537件	実績に対する評価 デビットカードの収納件数が大幅に伸びており、患者ニーズに対応できているものと考えられる。	A	A	
				病院名	クレジットカード		デビットカード																																																																			
平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度																																																																							
足柄上病院	4,886件	4,993件	18件	28件																																																																						
こども医療センター	8,926件	8,947件	118件	107件																																																																						
芹香病院	2,068件	1,724件	175件	96件																																																																						
せりがや病院	247件	447件	2件	8件																																																																						
がんセンター	25,692件	25,773件	1,202件	1,702件																																																																						
循呼センター	9,708件	9,505件	52件	234件																																																																						
合計	51,527件	51,389件	1,567件	2,175件																																																																						
病院名	平成22年度	平成23年度																																																																								
足柄上病院	960件	850件																																																																								
こども医療センター	81件	187件																																																																								
芹香病院	977件	834件																																																																								
せりがや病院	211件	271件																																																																								
がんセンター	152件	49件																																																																								
循呼センター	276件	346件																																																																								
合計	2,657件	2,537件																																																																								
			課題 診療費支払いにあたり、多様な方法を用意していることについて、引き続き周知を図っていく必要がある。																																																																							

小項目 4 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (4) ボランティア・NPOとの協働

中期計画

様々な県民ニーズに対応したボランティア活動を行うボランティアやNPOの協力を得て、療養の支援を図る取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・ボランティアの協力の下、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動等を実施する。</p> <p>・こども医療センター入院患者の家族滞在施設の運営を支援</p>	<p>(4) ボランティア・NPOとの協働</p> <p>・ボランティアの協力を得て、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施する。</p> <p>・通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。</p> <p>・こども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて運営の支援を行う。</p>	<p>・ボランティア団体等の活動と連携・協力を得て、院内案内業務、患者介助等やコンサート等のレクリエーション活動等、患者の療養の支援を図る取組を推進した。</p> <p>[足柄上病院] ランパス、杉の子会、松田絵手紙の会、音楽ボランティア会、受付介助ボランティア会の各団体との連携・協力による各種活動や療養支援が行われた。</p> <p>[こども医療センター] 患者のQOLの向上や通院に対する恐怖感の軽減のため、25団体のボランティア団体(統括組織としてオレンジクラブがあり、構成員は282人)の協力により、各種活動（演奏会、遊び相手、生け花、園芸、装飾品の作成・展示等）や療養支援（介添え、院内誘導等）が行われた。</p> <p>[がんセンター] ランパス、患者会コスモスの会、理容ボランティアスヴェンソンらのボランティアの協力を得て、院内案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・ランパスの協力を得て、院内の案内や外来患者の介助、療養生活の支援を行った。</p>	<p>様々なボランティアの人々に病院運営の活動に参画してもらい、患者・家族の精神的な支え、療養生活の環境改善の向上の一助となることができた。</p>	△	△	

・日本語を母語としない外国籍患者と、診療等での適切かつ円滑な意思疎通を図るため、各病院において「NPO法人多言語社会リソースかながわ」と医療通訳サービス契約を行い、10言語に対応するなど外国籍患者に対する診療の支援を行った。

延べ利用件数 254件

・入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて、長期入院患者の家族に対する支援を行った。

利用家族数：353家族、利用者数：4,117人

延べ宿泊数：2,061日

課題

・引き続き、患者の療養の支援を図る取組を進めるため、ボランティア活動と病院運営との効果的な連携方法を検討していく必要がある。

・こども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、継続的に支援していく必要がある。

小項目 4 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (1) 医師の確保と育成

中期目標

医療を提供する基盤である医師や看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、人材の育成に向けた研修等の充実に努めること。
 (1) 医師の確保と育成
 質の高い医療を継続的に提供するため、優秀な医師の確保に努めること。
 また、初期臨床研修医及び後期臨床研修医等を積極的に受け入れ、次代を担う若い医師を育成するとともに、医師の専門性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
4 医療人材の確保と育成 神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師や看護師等の医療従事者の確保と育成に努めるとともに、勤務環境の改善や資質向上の機会の拡大等、医療従事者を支援する取組を推進する。 (1) 医師の確保と育成 ・広く一般から優秀な人材を確保するため、医師の公募を行う。 ・初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、教育研修体制を強化するとともに、後期臨床研修医が研修に専念できるよう、待遇面等について充実に図る。	4 医療人材の確保と育成 (1) 医師の確保と育成 ・連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。 ・専門性の向上につながる魅力的な教育・研修体制を充実させるなど、後期臨床研修医の積極的な受入れに努める。	・平成23年4月1日時点で、後期臨床研修医を除く正規の医師の必要数295人のところ、現員数が286人で、充足率は96.9%である。足柄上病院産科など医師確保が全国的に困難である特定の診療科を除き県立病院における医師の充足率は高い。 ・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基礎としながらも、それ以外の手法（公募や人的ネットワークの活用）による採用も積極的に行い、平成23年度には、全病院で7人採用した。 ・後期臨床研修医については、平成22年度から研修プログラムに沿った期間を任期とし、週40時間勤務の常勤の研修医制度として従来の制度を見直すとともに、報酬面についても、充実に図っており、足柄上病院2人（前年度比±0人）、こども医療センター43人（同±0人）、がんセンター28人（同±0人）、循環器呼吸器病センター5人（同3人減）の合計78人を確保している。 [こども医療センター] ・横浜市立大学との間でこども医療センターの医師が大学院生の教育・指導、横浜市立大学院生がこども医療センターの研修医としての研究、こども医療センターの研修医が大学院生としての受講を行うことを内容とした相互交流による連携大学院協定を締結した。	実績に対する評価 独立行政法人化への移行に伴い、医療環境の変化等に着実に対応できる人員配置が可能となり、柔軟かつ弾力的に医師を確保できる環境が整いつつある。	△	△	足柄上病院の産科医師の不足は大きな問題である。
			課題 後期臨床研修医については、他の医療機関との競争性や医療の高度専門化に対応できる人材の育成に向けて、さらにカリキュラムを充実させる必要がある。			

小項目 4 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (2) 看護師の確保と育成

中期目標

質の高い看護を継続的に提供するため、看護師の確保に努めるとともに、看護師の能力を向上させるための研修を実施し、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師の資格取得を促進すること。また、看護学生の実習を積極的に受け入れ、看護師の育成に寄与すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																			
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																		
<p>・質の高い看護を継続的に提供するため、看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図る。</p>	<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施し、受験を促進するとともに、採用試験実施回数の拡大や県外試験の実施等により、7対1看護体制取得に向けて看護師確保を図る。</p> <p>・看護師等の養成施設に在学する者に修学資金を貸付けることで、その者の修学を容易にし、病院機構の病院に勤務する環境を整えることを目的とした修学資金貸付制度を創設する。</p> <p>・看護師の教育・研修体制の充実、プリセプターシップ^{*21}の実施等により、看護師の育成とその定着を図る。</p>	<p>・全病院を対象とする採用試験を8回実施。こども医療センターなど特定の病院への配属を目指す配属確定型試験を5回実施。計13回の採用試験を実施することで、平成24年4月1日現在で前年同期比69人増となる1,507人を確保することができた。</p> <p>・修学資金の借受生は22人であり、平成24年の卒業生全員が希望の病院に就職し、確保対策として効果的であった。</p> <p>[修学資金借受生の内訳]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>卒業年</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新人看護師にはプリセプターシップをはじめとするきめ細かな1年目研修を実施するとともに、ステップによる院内外での研修体系に基づき研修を実施した。</p> <p>・新卒看護師の離職率は、平成22年度が8.6%に対して平成23年度は11.5%となり、目標値の9.5%未満を達成できなかった。</p> <p>[新卒看護師離職率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機構の新卒看護師採用人数</td> <td>93人</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>病院機構の新卒看護師退職人数</td> <td>8人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>病院機構の新卒看護師離職率</td> <td>8.6%</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>神奈川県の新卒看護師平均離職率</td> <td>8.8%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全国の新卒看護師平均離職率</td> <td>8.1%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	卒業年	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計	足柄上病院	0人	1人	1人	0人	2人	こども医療センター	3人	2人	1人	0人	6人	精神医療センター	0人	0人	0人	0人	0人	がんセンター	4人	1人	2人	1人	8人	循環器呼吸器病センター	2人	0人	1人	0人	3人	未定	0人	2人	0人	1人	3人	合計	9人	6人	5人	2人	22人	区分	平成22年度	平成23年度	病院機構の新卒看護師採用人数	93人	122人	病院機構の新卒看護師退職人数	8人	14人	病院機構の新卒看護師離職率	8.6%	11.5%	神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	-	全国の新卒看護師平均離職率	8.1%	-	<p>全国的な看護師不足の中であるものの、学生向けの説明会を精力的に開催することなどにより、平成24年4月1日現在で前年同期と比べ69人を増員することができた</p>	<p>△</p>	<p>△</p>	<p>新卒看護師の離職率を下げる努力を引き続き行う必要がある。今後は、研修等の取組実績も業務実績として記載した方がよい。</p>
卒業年	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計																																																																			
足柄上病院	0人	1人	1人	0人	2人																																																																			
こども医療センター	3人	2人	1人	0人	6人																																																																			
精神医療センター	0人	0人	0人	0人	0人																																																																			
がんセンター	4人	1人	2人	1人	8人																																																																			
循環器呼吸器病センター	2人	0人	1人	0人	3人																																																																			
未定	0人	2人	0人	1人	3人																																																																			
合計	9人	6人	5人	2人	22人																																																																			
区分	平成22年度	平成23年度																																																																						
病院機構の新卒看護師採用人数	93人	122人																																																																						
病院機構の新卒看護師退職人数	8人	14人																																																																						
病院機構の新卒看護師離職率	8.6%	11.5%																																																																						
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	-																																																																						
全国の新卒看護師平均離職率	8.1%	-																																																																						
<p>[新卒看護師離職率の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成23年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機構の新卒看護師採用人数</td> <td>84人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>病院機構の新卒看護師退職人数</td> <td>8人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>病院機構の新卒看護師離職率</td> <td>9.5%</td> <td>9.5%未満</td> </tr> <tr> <td>神奈川県の新卒看護師平均離職率</td> <td>9.7%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全国の新卒看護師平均離職率</td> <td>8.6%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 神奈川県及び全国の平均離職率は、社団法人日本看護協会「病院における看護職員需給状況調査」結果の公表値とする。</p>		区分	平成21年度実績	平成23年度目標	病院機構の新卒看護師採用人数	84人	-	病院機構の新卒看護師退職人数	8人	-	病院機構の新卒看護師離職率	9.5%	9.5%未満	神奈川県の新卒看護師平均離職率	9.7%	-	全国の新卒看護師平均離職率	8.6%	-																																																					
区分	平成21年度実績	平成23年度目標																																																																						
病院機構の新卒看護師採用人数	84人	-																																																																						
病院機構の新卒看護師退職人数	8人	-																																																																						
病院機構の新卒看護師離職率	9.5%	9.5%未満																																																																						
神奈川県の新卒看護師平均離職率	9.7%	-																																																																						
全国の新卒看護師平均離職率	8.6%	-																																																																						

・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、キャリアパスによるキャリア開発とその支援を行うための研修を実施するとともに、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師を、その資格が活用できる職場に積極的に配置する。

・専門看護師^{※2 2}及び認定看護師^{※2 3}の資格を有する看護師を積極的に活用する等、専門能力を称揚する取組により、その専門能力向上を促進する。

(参考) 専門看護師等の有資格者数実績

区分	平成21年度
専門看護師 ^{※2 2}	7人
認定看護管理者 ^{※2 4}	3人
認定看護師 ^{※2 3}	60人
計	70人

・看護専門学校等と看護学生の受入れについて連携を図るとともに、より一層の看護学生の実習受入れに努める。

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の实習受入れ拡大を図る。

(参考) 看護実習受入実績

区分	平成20年度
保健福祉大学	123人
よこはま看護専門学校	397人
平塚看護専門学校	159人
その他	830人
計	1,509人

[看護実習受入実績]

区分	平成21年度
保健福祉大学	132人
衛生看護専門学校	250人
よこはま看護専門学校	537人
平塚看護専門学校	102人
その他	648人
計	1,669人

・平成23年度には、新たに専門看護師5人などが認定を受け、県立病院機構全体で専門看護師等の有資格者は、合計74人(前年度比2人増)となり、専門能力が発揮できるよう配置を行った。

[専門看護師等の有資格者数実績]

区分	平成22年度	平成23年度
専門看護師	10人	15人
小児看護	4人	5人
がん看護	6人	7人
家族看護	0人	2人
慢性疾患看護	0人	1人
認定看護管理者	4人	3人
認定看護師	53人	51人
皮膚・排泄ケア	5人	6人
集中ケア	8人	8人
がん性疼痛看護	17人	16人
がん化学療法	3人	3人
乳がん看護	1人	1人
緩和ケア	7人	6人
感染管理	7人	7人
糖尿病看護	1人	0人
小児救急看護	2人	2人
新生児集中ケア	2人	2人
精神科認定看護師	5人	5人
計	72人	74人

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の实習受入れを行ったが、県立以外の養成施設(その他)については、実習施設との調整を行った結果減少した。

[看護実習受入実績]

区分	平成22年度	平成23年度
保健福祉大学	139人	164人
衛生看護専門学校	241人	257人
よこはま看護専門学校	501人	537人
平塚看護専門学校	93人	87人
その他	682人	488人
計	1,656人	1,533人

課題

がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の確立、精神医療センターにおける医療観察法病棟の開設等への対応に向け、さらに看護師の確保が必要である。

小項目 4 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

中期目標

コメディカル職員等について、必要な職員の確保に努めるとともに、研修の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																													
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																												
<p>・必要な職員を迅速に確保するため、各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法を適切に設定して試験を実施する。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を効果的に実施するとともに、実施に当たっては、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する。</p> <p>・職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。</p> <p>・研修の実施に当たっては、内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>・コメディカル職員については、年齢が30歳までの一般採用区分と年齢にとらわれず病院経験などの医療経験3年以上の者を対象とする経験者採用区分を設けることで、平成24年4月1日現在で前年同期比17人増となる280人を確保することができた。</p> <p>・福祉職については、職場の実態に即し、相談・心理・介護の分野ごとに試験区分を設け、業務に応じた職員の確保に努めた。</p> <p>[福祉職・主なコメディカル職の採用状況]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>一般</th> <th>経験者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉職</td> <td>1人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>-</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>-</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>栄養管理科長</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度採用者</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、県機関、各種学会等が実施する外部研修に多くのコメディカル職員を参加させ、専門知識の習得等の資質の向上に努めた。</p> <p>[足柄上病院] 学会や各分野の研究会、研修会等に延べ16人の職員が参加した。</p>	職種	一般	経験者	合計	福祉職	1人	9人	10人	管理栄養士	-	2人	2人	薬剤師	6人	3人	9人	診療放射線技師	2人	4人	6人	臨床検査技師	-	8人	8人	栄養管理科長	-	1人	1人	<p>・コメディカル職種については、各病院の実態を踏まえ、医療ニーズに対応した職員の確保に努めた結果、平成24年4月1日現在で前年同期と比べ17人を増員することができた。</p> <p>・また、経験者の採用を積極的にすすめたことにより、即戦力として業務に従事することができる人材や将来性豊かな人材を確保することができた。</p> <p>・多種多様な研修に参加することにより、職員の知識、技術の向上を図ることができた。</p>	△	△	
職種	一般	経験者	合計																															
福祉職	1人	9人	10人																															
管理栄養士	-	2人	2人																															
薬剤師	6人	3人	9人																															
診療放射線技師	2人	4人	6人																															
臨床検査技師	-	8人	8人																															
栄養管理科長	-	1人	1人																															

		<p>[こども医療センター] ・一定期間継続する高度な研究プロジェクトのために、当該期間に限って、研究者として高い資質を持つ人材を任期付研究員として、採用するための選考を行った。</p> <p>・学会や各専門分野の研究会、研修会等に延べ481人の職員を参加させた。</p> <p>[精神医療センター] 学会や各分野の研究会、研修会等に述べ19人の職員が参加した。</p> <p>[がんセンター] ・各種講習会等に参加し、新しい知識、高い技術の取得と院内研修等による共有化等をもって診療、検査に貢献できる職員の育成に努めた、その結果、臨床工学技士による院内医療機器の点検については、ほぼ全機種について可能となった。</p> <p>・先行重粒子治療施設への研修派遣を行い人材育成を図った。平成23年4月から同年10月までの期間に1人を、同年10月から平成24年10月(予定)までに1人を放射線医学総合研究所に派遣している。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 管理栄養士、放射線技師、検査技師等の7職種がそれぞれの学会や各分野の研究会、研修会等に延べ120人の職員が参加し、自己研鑽に努めた。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>コメディカルの確保については、採用試験の広報や採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 4 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (4) 勤務環境の改善

中期目標

看護師等を安定的に確保するため、ワークライフバランスをとりやすい多様な勤務形態を検討・実施する等、医療従事者が安心して働くことができるよう勤務環境の改善に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。</p> <p>・医療従事者宿舍の整備、民間アパートの借上げ等、各病院の実情に応じた取組により医療従事者公舎の充実を図る。</p> <p>・ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。</p>	<p>(4) 勤務環境の改善</p> <p>・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。</p> <p>・こども医療センターにおいて、小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保、及び災害時の医療機能維持を目的に、医師宿舍の改修工事及び看護師宿舍の建築工事に着手する。</p> <p>・職員のワークライフバランスに資するため、現行の時差出勤制度の見直しの検討や、年次有給休暇の取得促進に向けた取組を行う。</p> <p>・各病院の業務の実態に応じた時間外勤務の縮減を図るなど、労働時間の適正化に向け、業務見直しを進めるとともに、職員の意識啓発や、タイムマネジメントの研修を開催するなどの取組を行う。</p>	<p>・早出勤務や遅出勤務者、さらには準夜勤務、深夜勤務のある看護師などの医療従事者の勤務形態に合わせた保育を実施するため、保育時間の延長、週2日程度の24時間保育を引き続き実施した。</p> <p>・こども医療センターにおいて、医療従事者宿舍の改修工事を平成23年11月に、新築工事を平成24年1月に着工した。それぞれ平成24年度中の完成を予定している。</p> <p>・年次休暇を取得しやすくするような職場環境の整備のため、看護局長会議や事務局長会議などを通じて職員の年次休暇取得促進に向けた取組を推進した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・看護師等の医療従事者の確保、定着に向け、働きながら子育てが出来る環境を整備した。</p> <p>・仕事と生活の調和が取り入れられるよう年次休暇取得促進に向けた取組を推進した。</p>		<p>△</p>	<p>△</p> <p>年次休暇の取得実績は数字で示すべきである。職員の満足度等の調査について、調査手法の全病院統一や結果の活用策を検討していただきたい。</p>
			<p>課題</p> <p>・24時間保育の実施回数等について、利用状況を踏まえて、検討していく必要がある。</p> <p>・ワークライフバランスを取りやすい勤務形態の導入に向けて、短時間正規職員や夜間専従の正規職員の制度について、他病院の状況を参考としながら、引き続き検討していく必要がある。</p>			

小項目 4 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立

中期目標

地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を整備するとともに、地方独立行政法人制度の利点を生かして、より一層効率的・効果的な業務運営を行い、経営改善を図ること。

1 業務運営体制の確立

病院経営に関する意思決定を主体的に行い、迅速に実行に移すため、理事会及び本部事務局の体制を整備するとともに、効率的・効果的な業務運営を行うための体制を整備すること。
また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる取組の実現に向けた体制を整備すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を確立する。また、人事・予算等を弾力的に運用できる地方独立行政法人制度の利点を生かして、効率的・効果的な業務運営を行うとともに、収益を確保し、費用を削減するための経営改善の取組を推進する。</p> <p>1 業務運営体制の確立 効率的・効果的な業務運営を行うため、病院経営に関する意思決定を、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会で行うとともに、各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にする。 また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標等に掲げる取組の実現に向けた体制を整備するため、本部事務局及び各病院に経営企画機能を担う部署を設置する。 さらに、中期目標等に掲げる組織目標の達成に向けて、各病院が自律的に取り組むため、年度計画に病院ごとの収支計画等の経営目標を明示する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立 ・理事会による法人の運営体制の下に、各病院の理事が与えられた権限を適切に行使し、医療機能の充実及び経営改善に向けた取組をより一層進め、経営基盤の強化を図る。</p> <p>・理事長、副理事長、理事、各病院の長並びに本部事務局及び各病院の経営企画機能の統括を担う職員等で構成する経営会議を中心に、各病院の経営状況の共有化を図るとともに、病院業務の効率化等、経営改善に向けた取組を推進し、中期目標等に掲げる取組を着実に進める。</p>	<p>・理事会において重要な事項について意思決定を行うとともに、理事会決定事項の具体化や病院運営に係る主要な事項について検討する経営会議及び事務局長会議を定例で開催し、活発な議論を行うことにより、業務の適切な執行を確保するとともに、各病院の諸課題への対応の検討を行った。</p> <p>[開催実績] 理事会12回、経営会議11回、事務局長会議15回</p> <p>・経営会議では、各病院が作成した診療、財務データ等の月次報告を行うことにより、経営状況の共有化を図るとともに、収益確保（支出削減）策についての検討・意見交換を行い、中期目標等に等に掲げる取組を着実に進めるための進捗管理に努めた。</p> <p>また、若手事務職員を経営会議に参加させる取組を平成23年12月から開始し、次世代職員の経営参画意識の醸成に努めた。</p> <p>・法人発足時に、病院の総長等に委譲した予算・人事の権限を、各病院が適正に行使し、自律的・機動的な病院運営に努めた。 ＜委譲した予算・人事の権限＞ ・予算の節間流用権限 ・機種選定会議、委託契約等の契約締結権 ・病院独自の採用試験の実施</p> <p>・病院機構の業務運用に適応した人事給与システムの開発に取り組み、これまでの神奈川県の人件給与システムに替わるシステムを構築した。</p>	実績に対する評価	△	△	
			課題			
			業務の効率化、経営改善の取組等をより多くの職員が参画し活発に議論するとともに、効率的・効果的な会議運営を図るため、理事会、経営会議等の再編・見直しを行う必要がある。			

小項目 4 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期
目標

ア 人事・予算の弾力的運用
 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 医療ニーズの質の変化や患者動向に迅速に対応するため、職員の採用や医師等スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等を行う。</p>	<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。</p>	<p>雇用期間の定めのある職員については、業務の内容等に応じ、契約職員・非常勤職員・短期非常勤職員・再雇用職員などを多様な勤務形態で雇用し、医療専門職員による的確な医療を行った。</p>	実績に対する評価	Λ	Λ	
			課題			
			<p>医療ニーズや医療環境等の変化に即応できるような採用方法を引き続き検討する必要がある。</p>			

小項目 50 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

ア 人事・予算の弾力的運用
 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化 中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行う。</p>	<p>ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化 中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※LDR室とは、 LABOR(陣痛) DELIVERY(分娩) RECOVERY(回復) の頭文字で、 陣痛発来から分娩、回復期までを一つの部屋で過ごすシステムをいう。</p> </div>	<p>【平成23年度の取組】 ・平成22年度決算の総利益13億6,900万円のうち3億円(医療機器等整備積立金)を利益処分として、各病院の医療機器等の整備に充当した。</p> <p>【施設の整備】 [こども医療センター] 母性病棟にLDR室[*](2室)を整備</p> <p>【医療機器の整備】 [足柄上病院] デジタル脳波計 等 [こども医療センター] X線骨密度測定装置 等 [芹香病院] 全自動錠剤分包機 等 [せりがや病院] 解析付心電計 等 [がんセンター] 電子内視鏡ビデオシステム 等 [循環器呼吸器病センター] 超音波診断装置 等</p> <p>【平成22年度からの継続取組】 ・各病院において、総長・所長等の判断による柔軟な予算執行を行うことにより、医療ニーズの変化に応じた適切な病院運営を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>予算の弾力的な運用を行うことにより、各病院の持つ課題に対し効率的かつ迅速な対応を行うことができた。</p>	△	△	
			<p>課題</p> <p>各病院の執行状況だけではなく、法人全体の執行状況を踏まえた流用のあり方を検討していく必要がある。</p>			

小項目 5 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- イ 事務職員の専門性の向上
 県立病院機構で独自に事務職員を採用することにより、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・診療報酬事務等、病院特有の事務や病院経営に関する知識・経験を有する人材等の採用を計画的に進める。</p> <p>・経営企画機能を強化し、高度な専門性を有する事務職員を育成するため、診療報酬事務等の専門研修を実施する。</p>	<p>イ 事務職員の専門性の向上</p> <p>・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を行うため、一般の採用試験とは別に、経験者を対象とした採用試験を実施する。</p> <p>・採用職員については、業務を通じて専門的な知識や能力を高めるとともに、診療報酬事務や会計事務等に係る研修を実施し専門性を高める。</p>	<p>・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を行うための知識・経験を有する人材確保に向け、一般採用枠に加え、幹部候補及び経験者枠での採用試験を行い、平成23年4月1日付けで20人の事務職員を採用し、本部事務局、各病院（総務課、経営企画課、医事課、地域連携室等）に配置した。</p> <p>・人材育成に係る新たな取組として、一部専門研修の委託化を行い、次のような研修内容の充実・強化を図った。</p> <p>病院で職務を遂行するために必要な意識（もてなしの心）、マナー及び応対能力（聴くスキル・話すスキル等）の習得及び向上を目的に、コミュニケーション能力強化研修（全2回）を実施した。</p> <p>病院経営に係る基礎能力・応用能力、企画能力、経営分析能力等の養成、強化する取組として、平成23年11月・12月に簿記・地方独立行政法人会計基準の研修（全2回）を、平成24年1月に病院経営に関する問題解決能力強化研修（全2回）を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・平成23年度は計画人員を確保し、平成24年度の新規採用職員についても必要人数（16人）を確保できた。また、そのうち2人は病院機構では初めてとなる幹部候補として採用した。平成24年4月1日現在で、法人採用事務職員は、52人となった。</p> <p>・幹部候補及び経験者の採用区分で採用した職員は、その者の業務実績等を考慮し、医事経営部門等の即戦力として相応の部門に配置した。</p> <p>・職員の専門性を高める研修の講座を増やすなどの充実・強化を図るとともに、その実施を計画的に行った。</p>	△	△	
			<p>課題</p> <p>・職員が多様な業務経験を通して病院経営に必要な能力を習得・発揮できるよう、人事ローテーションを工夫し、本部事務局及び各病院へのバランスのとれた配属を行うとともに、専門性の高い職員を育成していく必要がある。</p> <p>・病院事務職員としての経験年数、専門性を考慮した研修カリキュラムの整備を行う必要がある。</p>			

小項目 5 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- ウ 職員の経営参画意識の向上
 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するための取組を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するため、表彰制度の実施や、医療機器の整備等に要する予算を病院の経営実績を反映して傾斜配分する等経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	ウ 職員の経営参画意識の向上 経営参画意識を高めるための職員研修や表彰制度、病院の経営実績を反映した医療機器整備等予算の傾斜配分等、経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	<p>職員の経営参画意識を醸成するとともに、病院機構の経営状況、経営改善に向けた取組を共有化することを目的に、次のような取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各県立病院の経営改善の取組等をすべての病院で共有するため、平成23年12月から、病院経営の分析、企画立案等を担う事務職員を経営会議及び各病院の運営会議へ参加できる取組を開始した。 また、職員の経営改善案が理事長に直接届くよう、理事長と各病院のセクション長との意見交換を随時実施した。 事務職員を対象に病院経営に係る基礎能力・応用能力、企画能力、経営分析能力等の養成、強化する取組として、簿記・地方独立行政法人会計基準の研修（全2回）を、病院経営に関する問題解決能力強化研修（全2回）を実施した。 職員の経営参画意識を醸成するよう、質の高い医療の実現をテーマとした業務改善等について、理事長表彰を実施するとともに、各病院の専門性・特性に応じた職員の創意工夫や地道な取組などについて、所属長表彰を実施した。 40件（36団体及び個人4人） 経営改善の成果を病院に還元するため、各病院に対し、経常利益と、医業収益の改善額とを考慮しながら平成22年度決算の総利益13億6,900万円のうち3億円を利益処分として配分した。 各病院においては、診療報酬制度の研修会を開催するなど、職員の経営意識を醸成するための取組を実施した。 	実績に対する評価 <ul style="list-style-type: none"> 職員の経営参画意識の醸成のため、病院機構の経営状況、経営改善に向けた取組の情報を共有化する仕組みを整備（試行）するとともに、職員研修の充実にも努めた。 職員の経営参画意識を醸成するために理事長表彰を実施したほか、所属の特性に応じた所属長表彰を実施した。 	△	△	経営改善の成果を還元する取組が進んだことは評価できる。	
			課題 <ul style="list-style-type: none"> 事務職員はもとより、医師、看護師その他医療従事者の経営参画意識の醸成や、経営改善能力を養成するため、情報共有や職員研修の充実・強化を図る必要がある。 職員の経営意識がさらに高められるよう、表彰制度をより工夫・充実させる必要がある。 				

小項目 5 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- エ ITの活用による効率的な医療提供の推進
 ITを活用することにより医療の情報化の推進に努めるとともに、症例データの蓄積と迅速な分析を可能とすることによって、医療内容の標準化を図り、効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
医療情報の共有化を進め、集積したデータを分析し、その結果を医療の質の向上や標準化に活用するため、トータルオーダーリングシステムを適切に更新するとともに、電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステム(PACS)を導入する。	エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 ども医療センター及びがんセンターにおいて電子カルテシステムを、足柄上病院において画像情報ネットワークシステム(PACS)を導入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・足柄上病院において、平成23年11月から画像情報ネットワークシステム(PACS)を導入した。 ・ども医療センターにおいて、平成24年1月にトータルオーダーリングシステムをはじめとした院内関係情報システムを再編し、総合医療情報システムとして構築した。 ・がんセンターにおいては、平成24年1月から電子カルテシステムの運用を開始した。 	実績に対する評価 PACS導入に伴い、オーダーリングシステム端末又は専用端末を配置した場所であれば、いつでも検査画像の参照が可能となり、各種検査項目の実施状況も一目でわかるようになり、業務効率が格段に向上した。 また、医療情報のIT化や整備により、業務が効率化するとともに、患者サービスの水準向上にも資することができた。	△	△	電子カルテシステムの全病院への導入に向け、導入していない病院の導入スケジュールを目標化した方がよい。	
			課題 他病院も含めて、引き続きITの活用に取り組むことにより、医療の質の向上や標準化をさらに進める必要がある。				

小項目 5 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

- 中期目標
 オ 効率的な事務執行の推進
 効率的な事務執行を推進するため、契約事務の簡素化や多様な契約形態をとるとともに、物品調達を集約化を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント						
<p>・契約事務の簡素化、複数年契約の適用範囲の拡大等、多様な契約形態の活用、物品調達の集約化により、効率的な事務執行を推進する。</p> <p>・売買、請負等の契約については、情報の公開と競争による選定を基本とし、透明性・公平性を確保する。</p> <p>・委託契約については、最低制限価格の適用業務の拡大により、提供される委託業務の質を確保する。</p>	<p>オ 効率的な事務執行の推進</p> <p>・医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施する。</p> <p>・医薬品等の廉価購入を図るため、他病院等の購入価格を比較できるベンチマークシステムを活用する。</p>	<p>・県立病院で共通して使用する医薬品・検査試薬・診療材料については、スケールメリットによる廉価購入を目的として、本部事務局で年間使用数量を取りまとめ、共同購入を実施した。</p> <p>[共同購入実績（定価からの値引率）]</p> <table border="1"> <tr> <td>薬品</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>検査試薬</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>38.5%</td> </tr> </table> <p>・医薬品等の購入価格の積算にあたっては、適正な市場価格を把握するためにベンチマークシステムを活用し、基礎データの収集、分析を行った。</p>	薬品	12.8%	検査試薬	29.2%	診療材料	38.5%	<p>薬品、診療材料については、概ね市場価格よりも廉価な水準で購入することができた。</p>	△	△	<p>薬品のさらなる値引について検討していただきたい。</p>
			薬品	12.8%								
検査試薬	29.2%											
診療材料	38.5%											
<p>課題</p> <p>共同購入品目の拡大について検討を進める必要がある。</p>												

小項目 5 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (2) 経営改善の取組

中期目標

ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																																																																									
<p>・効率的・効果的な病院運営を行い、より多くの県民に県立病院の医療を提供することにより、医業収益の確保の機会を拡大するため、クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等、より多くの県民に県立病院の医療を提供するための取組を実施する。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>5,900人以上</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.0%以上</td> <td>14.5日以下</td> <td>7,200人以上</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%以上</td> <td>(93日)</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>130.0日以下</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>80.0日以下</td> <td>330人以上</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.0%以上</td> <td>16.0日以下</td> <td>8,050人以上</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>82.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>4,000人以上</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>70.0%以上</td> <td>(61日)</td> <td>250人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。なお、こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <p>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>88.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上	こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上	(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上	芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上	せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上	がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上	循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上	センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	88.8%	92.1日	280人	芹香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	センター(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 ・クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等、より多くの県民に県立病院の医療を提供するための取組を実施する。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値(平成23年度)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.6%</td> <td>12.5日</td> <td>6,000人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>82.8%</td> <td>14.1日</td> <td>7,030人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>81.1%</td> <td>(95.8日)</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>76.8%</td> <td>100.1日</td> <td>870人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>73.3%</td> <td>70.7日</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>77.1%</td> <td>14.7日</td> <td>7,900人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>82.8%</td> <td>13.5日</td> <td>4,010人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>65.6%</td> <td>(60日)</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <p>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の実績(平成21年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>72.3%</td> <td>12.1日</td> <td>5,777人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.7%</td> <td>14.7日</td> <td>6,992人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%</td> <td>78.5日</td> <td>356人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>76.7%</td> <td>126.1日</td> <td>684人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>68.8%</td> <td>59.0日</td> <td>341人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>79.9%</td> <td>16.0日</td> <td>7,566人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>79.4%</td> <td>13.6日</td> <td>3,814人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>72.7%</td> <td>65.3日</td> <td>244人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.6%	12.5日	6,000人	こども医療センター(病院)	82.8%	14.1日	7,030人	(施設)	81.1%	(95.8日)	280人	芹香病院	76.8%	100.1日	870人	せりがや病院	73.3%	70.7日	300人	がんセンター	77.1%	14.7日	7,900人	循環器呼吸器病(一般)	82.8%	13.5日	4,010人	センター(結核)	65.6%	(60日)	240人	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	72.3%	12.1日	5,777人	こども医療センター(病院)	85.7%	14.7日	6,992人	(施設)	85.0%	78.5日	356人	芹香病院	76.7%	126.1日	684人	せりがや病院	68.8%	59.0日	341人	がんセンター	79.9%	16.0日	7,566人	循環器呼吸器病(一般)	79.4%	13.6日	3,814人	センター(結核)	72.7%	65.3日	244人	<p>・病床利用率の目標値を上回った病院は、こども医療センター1病院であった。 ・平均在院日数については、こども医療センター及び芹香病院を除く4病院で短縮に向けた目標値を達成した。 ・入院実患者数は、足柄上病院、こども医療センター(施設)、せりがや病院及び循環器呼吸器病センター(一般)で目標値を達成した。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成23年度実績)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>74.5%</td> <td>11.9日</td> <td>6,044人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>82.8%</td> <td>15.4日</td> <td>6,487人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.6%</td> <td>(77.9日)</td> <td>362人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>65.9%</td> <td>123.5日</td> <td>601人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>61.2%</td> <td>52.3日</td> <td>343人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>72.2%</td> <td>14.3日</td> <td>7,676人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>80.0%</td> <td>13.0日</td> <td>4,029人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>61.4%</td> <td>(64.5日)</td> <td>209人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成22年度実績)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>76.2%</td> <td>12.3日</td> <td>5,968人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>82.6%</td> <td>14.7日</td> <td>6,757人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.2%</td> <td>(69.1日)</td> <td>405人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>74.8%</td> <td>122.6日</td> <td>686人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>65.9%</td> <td>60.1日</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>76.0%</td> <td>14.9日</td> <td>7,753人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>84.7%</td> <td>13.1日</td> <td>4,211人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>64.5%</td> <td>(58.6日)</td> <td>241人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	74.5%	11.9日	6,044人	こども医療センター	82.8%	15.4日	6,487人	(施設)	85.6%	(77.9日)	362人	芹香病院	65.9%	123.5日	601人	せりがや病院	61.2%	52.3日	343人	がんセンター	72.2%	14.3日	7,676人	循環器呼吸器病(一般)	80.0%	13.0日	4,029人	センター(結核)	61.4%	(64.5日)	209人	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人	こども医療センター	82.6%	14.7日	6,757人	(施設)	85.2%	(69.1日)	405人	芹香病院	74.8%	122.6日	686人	せりがや病院	65.9%	60.1日	320人	がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人	循環器呼吸器病(一般)	84.7%	13.1日	4,211人	センター(結核)	64.5%	(58.6日)	241人	<p>実績に対する評価</p> <p>病床利用率は、こども医療センターを除いて目標値を下回ったが、これは病病・病診連携の推進など平均在院日数短縮に向けた取組の進展による影響が大きな要因となっており、多くの県民に医療を提供する目標は果たすことができたと考えられる。</p> <p>課題</p> <p>適切な収益の確保に向けて、医師、看護師の配置体制の充実や、地域医療機関との連携強化など、患者受入体制の整備をより推進する必要がある。</p>	<p>自己点数</p> <p>Λ</p>	<p>評価点数</p> <p>Λ</p>	<p>コメント</p> <p>在院日数を下げながら病床利用率を上げることを目指すべきである。</p>
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上																																																																																																																																																																																																																											
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	88.8%	92.1日	280人																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																																																																																																																																											
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	77.6%	12.5日	6,000人																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター(病院)	82.8%	14.1日	7,030人																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	81.1%	(95.8日)	280人																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	76.8%	100.1日	870人																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	73.3%	70.7日	300人																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	77.1%	14.7日	7,900人																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	82.8%	13.5日	4,010人																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	65.6%	(60日)	240人																																																																																																																																																																																																																											
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	72.3%	12.1日	5,777人																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター(病院)	85.7%	14.7日	6,992人																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	85.0%	78.5日	356人																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	76.7%	126.1日	684人																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	68.8%	59.0日	341人																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	79.9%	16.0日	7,566人																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	79.4%	13.6日	3,814人																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	72.7%	65.3日	244人																																																																																																																																																																																																																											
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	74.5%	11.9日	6,044人																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター	82.8%	15.4日	6,487人																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	85.6%	(77.9日)	362人																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	65.9%	123.5日	601人																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	61.2%	52.3日	343人																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	72.2%	14.3日	7,676人																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	80.0%	13.0日	4,029人																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	61.4%	(64.5日)	209人																																																																																																																																																																																																																											
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																																																																																											
足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人																																																																																																																																																																																																																											
こども医療センター	82.6%	14.7日	6,757人																																																																																																																																																																																																																											
(施設)	85.2%	(69.1日)	405人																																																																																																																																																																																																																											
芹香病院	74.8%	122.6日	686人																																																																																																																																																																																																																											
せりがや病院	65.9%	60.1日	320人																																																																																																																																																																																																																											
がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人																																																																																																																																																																																																																											
循環器呼吸器病(一般)	84.7%	13.1日	4,211人																																																																																																																																																																																																																											
センター(結核)	64.5%	(58.6日)	241人																																																																																																																																																																																																																											

小項目 5 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
・診療報酬の改定に対して迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。	・各病院の特性に応じて、診察報酬上の新たな施設基準を取得する。	各病院において体制の整備を図るなどして、新たな施設基準を取得した。 [平成23年度新たに取得した施設基準] 足柄上病院 輸血管理料 I ハイケアユニット入院医療管理料 医師事務作業補助体制加算 検体検査管理加算(IV) こども医療センター う蝕歯無痛の窩洞形成加算 がんセンター 神経学的検査 画像誘導放射線治療 定位放射線治療 ・先進医療(肺がん) ヘパトキート® 静脈内投与の併用療法	実績に対する評価 診療報酬算定のための新たな施設基準について適宜検証のうえ取得することにより、収益を確保することができた。	△	△	
			課題 施設基準の効果的な取得のため、業務執行体制等の検証を引き続き行うとともに、審査機関による査定への対策を強化する必要がある。			

小項目 5 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント								
<p>・適正な診療報酬を確保するため、患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止に取り組む。</p>	<p>・患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。</p>	<p>未収金回収の対策強化のために、足柄上病院、がんセンターのみで行っていた未収金回収専門員による出張回収について、対象を全病院に拡大した。</p> <p>[年度末個人未収金の状況]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度末</td> <td>297,505,367円</td> </tr> <tr> <td>平成22年度末</td> <td>319,350,909円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△21,845,542円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	合計	平成23年度末	297,505,367円	平成22年度末	319,350,909円	差引	△21,845,542円	<p>医事業務委託業者との連携や未収金回収員の対象拡大など、未収金の発生防止や早期回収に努めた結果、個人未収金を減少させることができた。</p>	△	△	
			年度	合計										
平成23年度末	297,505,367円													
平成22年度末	319,350,909円													
差引	△21,845,542円													
			<p>課題</p> <p>未収金回収対策について、より効率的・効果的な方法について検討を進める必要がある。</p>											

小項目58 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																															
			自己点数	評価点数	コメント																																															
<p>・医薬品に係る経費の節減とともに、患者の経済的負担の軽減にも資するため、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>イ 費用の削減 ・後発医薬品情報の収集に医薬品管理システムを活用するとともに、後発医薬品の利用状況把握と有効な代替方策を検討して、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・購入価格の決定については、他病院等の購入価格を比較できるベンチマークシステムを活用し、可能な限り廉価で購入する。</p>	区分	平成21年度実績	後発医薬品の品目採用率	11.7%	後発医薬品の金額採用率	4.1%	<p>一般の病院では実施が困難な高度専門医療を中心に実施していることから、後発医薬品の適用範囲が限られる中、安全性に十分配慮しつつ、各病院の薬事検討会議等において使用拡大に取り組んだ。</p> <p>[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>12.2%</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.6%</td> <td>5.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[病院別の後発医薬品の採用率の内訳]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>品目数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11.7%</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6.5%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>13.2%</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>13.6%</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>10.2%</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11.3%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12.8%</td> <td>5.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[共同購入実績（薬価からの値引率）] 薬品 12.8%</p>	区分	平成22年度	平成23年度	後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%	後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%	病院名	品目数	金額	足柄上病院	11.7%	9.0%	こども医療センター	6.5%	2.9%	芹香病院	13.2%	8.6%	せりがや病院	13.6%	8.2%	がんセンター	10.2%	6.5%	循環器呼吸器病センター	11.3%	5.8%	合計	12.8%	5.7%	<p>実績に対する評価</p> <p>後発医薬品については、品目・金額ともに平成22年度と同水準の採用率となり、目標値を上回った。 医薬品の購入価格についても、概ね市場価格よりも廉価な水準で購入することができた。</p> <p>自己点数 A 評価点数 A</p>	<p>課題</p> <p>後発医薬品の使用拡大など、薬品費の効率的な執行に向けて、各病院の薬事検討会議で検討を進める必要がある。</p>
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																		
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																		
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																		
区分	平成21年度実績																																																			
後発医薬品の品目採用率	11.7%																																																			
後発医薬品の金額採用率	4.1%																																																			
区分	平成22年度	平成23年度																																																		
後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%																																																		
後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%																																																		
病院名	品目数	金額																																																		
足柄上病院	11.7%	9.0%																																																		
こども医療センター	6.5%	2.9%																																																		
芹香病院	13.2%	8.6%																																																		
せりがや病院	13.6%	8.2%																																																		
がんセンター	10.2%	6.5%																																																		
循環器呼吸器病センター	11.3%	5.8%																																																		
合計	12.8%	5.7%																																																		

小項目 59 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の削減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・定型的な事務や院内保育業務等の業務の委託化を拡大し、経費の削減を図る。</p>	<p>・新財務会計システムの稼働により、最新の執行状況を把握し、効率的かつ計画的な執行を行い費用の削減を図る。</p> <p>・物流管理の見直しなど、物品の適正な在庫管理に努めることにより、費用の削減を図る。</p>	<p>・全病院で、照明の間引き、執務室の空調設定温度の適切な管理、エレベータの稼働台数の見直し等の節電や節水の対策を行い、光熱水費の削減に努めた。</p> <p>・消耗品及び診療材料の適正な在庫管理を行い、必要最小限な物品調達に努めた。</p> <p>[足柄上病院] 診療材料費等物品の調達にあたっては、5万円未満でも複数の業者による見積合わせを行うなど経費削減に努めた。</p> <p>[こども医療センター] ・必要性が希薄と判断した診療案内表示システム保守委託契約などを契約期間中に打ち切りとし、費用の削減を図った。 ・医療機器の購入において、費用の削減を目的に保守委託契約、診療材料購入契約を併せて締結した。</p> <p>[精神医療センター] ・設備保守管理等の業務委託の統合を行うことにより、経費削減とともに、事務処理の軽減も図った。</p> <p>[がんセンター] ・臨床工学技士が人工呼吸器、人工透析装置等のメンテナンス、性能試験、オーバーホール等を行うことにより、点検委託等の経費削減を図った。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・平成24年度に契約更新をする委託業務（患者給食業務）の業務内容の見直しを行い、平成24年度に向けて執行額の削減を図った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>省エネルギー対策とともに、光熱水費等の経費削減に努めた。</p>	△	△	<p>光熱水費の経費削減については、具体的数値目標を検討のうえ、実績値を示していただきたい。</p>
			<p>課題</p> <p>・経費削減及び事務の効率化を促進するため、各病院で共通使用する消耗品の一括購入方式の拡大について検討する必要がある。</p> <p>・今後とも、業務等の特性を踏まえ、職員の研修等について委託化を検討する必要がある。</p>			

小項目 6 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第7 その他業務運営に関する重要事項
人事に関する事項

中期目標

- (1) 適切な職員配置
経営効率の高い業務執行体制を構築するため、定型的な業務について委託を進めること等により、適切な職員配置に努めること。
また、医療ニーズの変化に適切に対応した看護師等、医療従事者の迅速・柔軟な採用・配置を行い、新たな政策課題に対しては、必要な医療従事者を適切に配置すること。
- (2) 的確な人事管理
職員の実績等を的確に反映した人事管理を行うため、より病院にふさわしい人事評価の仕組みを確立すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>(1) 適切な職員配置 ・事務部門については、専門性を高めるとともに、経営企画機能の強化を図る。また、定型的な業務については委託化を進める。</p> <p>・医療従事者については、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応し、効果的な人員配置を行うため、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p> <p>・がんセンター総合整備をはじめとした新たな政策課題を実現するため、必要な医療従事者を適切に配置する。</p> <p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについて、検討する。</p>	<p>(1) 適切な職員配置 ・事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を図る。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療施設について、平成26年度中の治療開始に向けた計画的な人員配置を行う。</p> <p>・精神医療センターの総合整備に向けて、必要な人員配置を行う。</p> <p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務実態を踏まえた人事評価システムについて、新しい人事評価基準などを策定するとともに、その導入に向けた準備を行う。</p>	<p>・平成24年4月1日に採用した事務職員については、本部事務局では総務企画課2人、職員課1人、財務課1人の計4人を配置した。 各病院の診療報酬等の医業収益確保を図るため医事課に3人、企画部門の機能強化を図るため経営企画課に5人、総務課等に8人の新規採用職員を配置した。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実や医療観察法病棟の開設(精神医療センター)など医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行なうために、平成23年度中に正規職員344人(医師70人、看護師216人、コメディカル職種29人、事務29人)を採用した。</p> <p>・職員がよりステップアップした能力開発を行えるよう、医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた評価項目・要素を設定し、職員の臨床能力や職務運営能力を的確に把握するとともに、昇任昇格や昇給、勤勉手当への反映など人事上の処遇への活用を図るため、平成24年度からの実施に向けて新たな人事評価制度を構築した。</p>	実績に対する評価	△	△		
			課題				

小項目60 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標

県立病院の医療機能を充実し、県民負担の軽減に努めながら、新たな課題に対応できる経営基盤を確保するため、健全な病院経営を行い、県立病院機構全体の財務内容の改善を図ること。
 経営目標
 業務運営の改善及び効率化を進め、より一層の経営改善に取り組むことにより、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。
 また、医業収支比率を133%以下とするよう努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、中期目標期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下とする。また、医業収支比率を133%以下とする。</p> <p>1 予算 (22年度～26年度) 省略 2 収支計画 (22年度～26年度) 省略</p>	<p>第3 予算 (人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算 (23年度) 2 収支計画 (23年度)</p> <p>(1) 県立病院機構全体 経常収支比率 100.8% 医業収益に対する給与費の比率 70.6% 医業収支比率 128.1%</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 95.8% 医業収益に対する給与費の比率 78.5% 医業収支比率 138.8%</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 102.1% 医業収益に対する給与費の比率 74.8% 医業収支比率 131.1%</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 96.5% 医業収益に対する給与費の比率 119.0% 医業収支比率 165.3%</p>	<p>・別冊「平成23年度 業務実績報告書」の「II 3 病院ごとの取組状況」を参照</p> <p>・県立病院機構全体の医業収支比率は129.2%となった。 なお、経常収支比率は100.1%、医業収益に対する給与費の比率は71.8%となった。</p> <p>[決算状況] (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 100.1% 医業収益に対する給与費の比率 71.8% 医業収支比率 129.2% 総損益 △181百万円</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 96.6% 医業収益に対する給与費の比率 80.9% 医業収支比率 136.3% 総損益 △265百万円</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 103.2% 医業収益に対する給与費の比率 73.0% 医業収支比率 128.9% 総損益 434百万円</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 90.4% 医業収益に対する給与費の比率 133.5% 医業収支比率 184.9% 総損益 △377百万円</p>	<p>平成23年度は、病院個別には、目標を達成した指標があるが、病院機構全体では、ハード面の整備に伴う収益の減少が大きく、いずれの目標も達成できなかった。</p>	B	B	給与比率の低減や医業収支比率の向上に向けた取組が必要である。

3 資金計画 (22年度～26年度) 省略	(5)せりがや病院 経常収支比率 94.6% 医業収益に対する給与費の比率 133.7% 医業収支比率 184.3%	(5)せりがや病院 経常収支比率 102.2% 医業収益に対する給与費の比率 125.0% 医業収支比率 176.0% 総損益 18百万円	課題 効果的な人員の配置や診療報酬改定を踏まえた施設基準の取得により、収益の改善を図る必要がある。			
	(6)がんセンター 経常収支比率 103.6% 医業収益に対する給与費の比率 54.8% 医業収支比率 115.7%	(6)がんセンター 経常収支比率 101.1% 医業収益に対する給与費の比率 57.9% 医業収支比率 119.1% 総損益 39百万円		(7)循環器呼吸器病センター 経常収支比率 106.9% 医業収益に対する給与費の比率 53.1% 医業収支比率 116.4%	(7)循環器呼吸器病センター 経常収支比率 105.0% 医業収益に対する給与費の比率 54.6% 医業収支比率 118.0% 総損益 271百万円	
	3 資金計画 省略					